

平成 24 年度 鶴見区区民意識調査

調査結果報告書

平成 24 年 12 月

横浜市鶴見区

## 平成 24 年度鶴見区区民意識調査

### 目 次

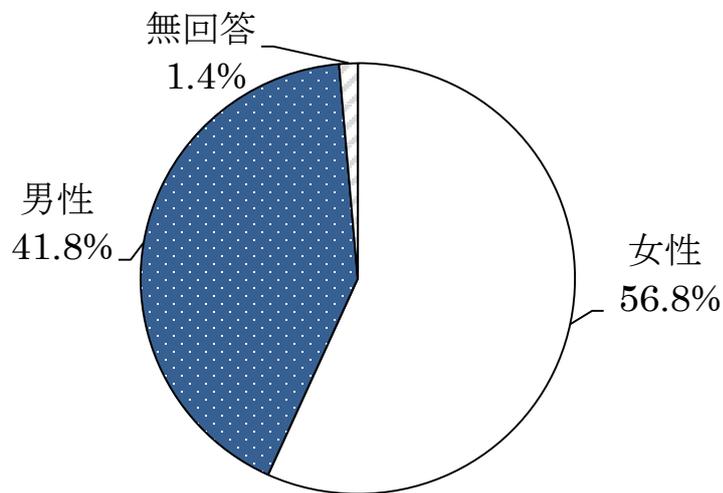
I. 調査概要 .....	1
II. 回答者の属性 .....	1
III. 集計結果 .....	6
1. 鶴見区について.....	6
2. 生活環境全般に対する重要度・満足度について.....	9
3. 防災について.....	14
4. 家具等の転倒防止について.....	17
5. 防犯について.....	19
6. 住宅用火災警報器について.....	21
7. 健康意識・ひざ痛の予防について.....	23
8. 健康診断について.....	25
9. 食育について.....	27
10. 「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」の地域支えあい活動について.....	29
11. 子育てについて.....	30
12. 民生委員・児童委員、保健活動推進員について.....	33
13. 広報よこはま鶴見区版について.....	35
14. 鶴見区役所の取組について.....	37

## I. 調査概要

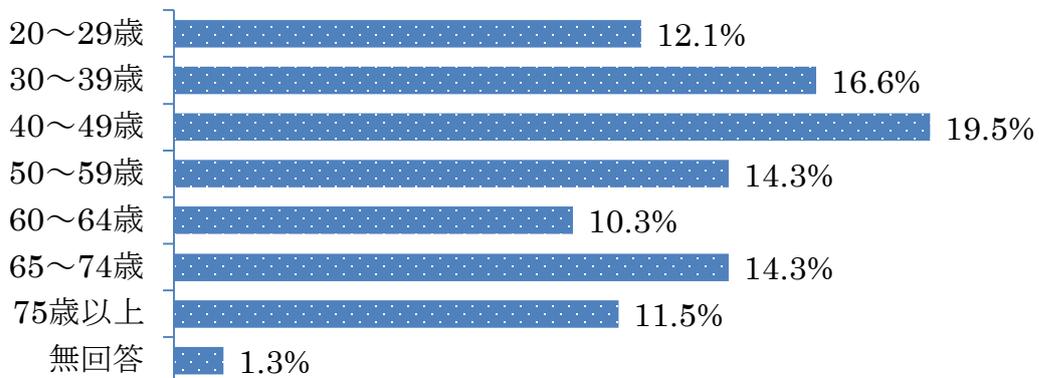
調査目的	区民の皆様から区政に対する率直な御意見、お考えを伺い、今後の区政運営の参考とする
調査対象	住民基本台帳から、区内在住の20歳以上の方2,000人を無作為抽出
調査期間	平成24年7月
調査方法	郵送配布・郵送回収法によるアンケート調査
回収状況	調査票発送数2,000件 回収数(n)1,018件(回収率50.9%)

## II. 回答者の属性

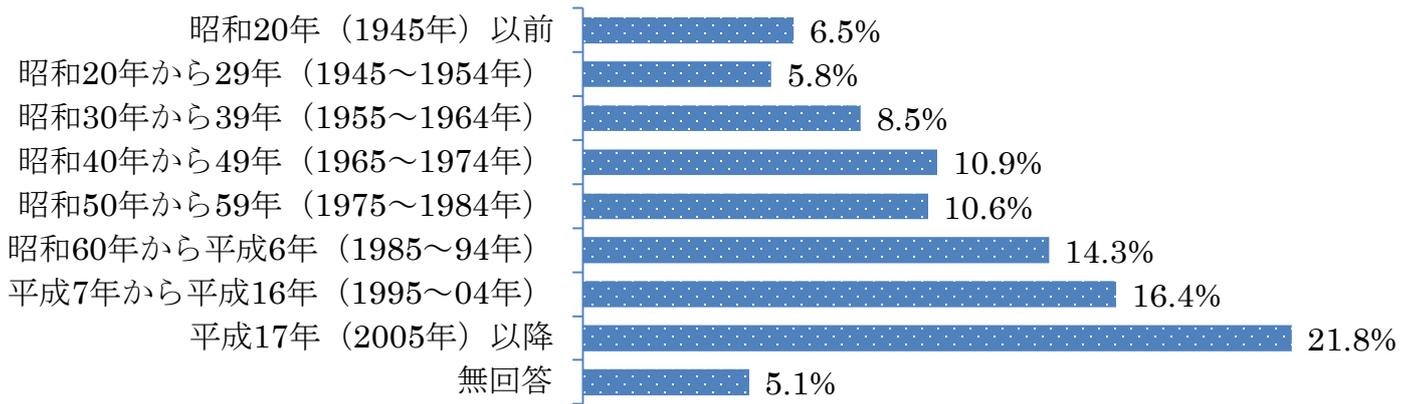
### 性別 (n=1018)



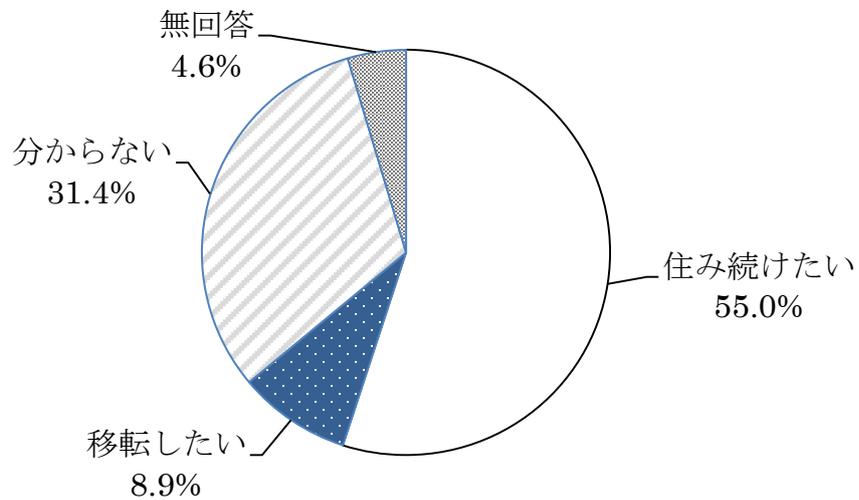
### 年齢 (n=1018)



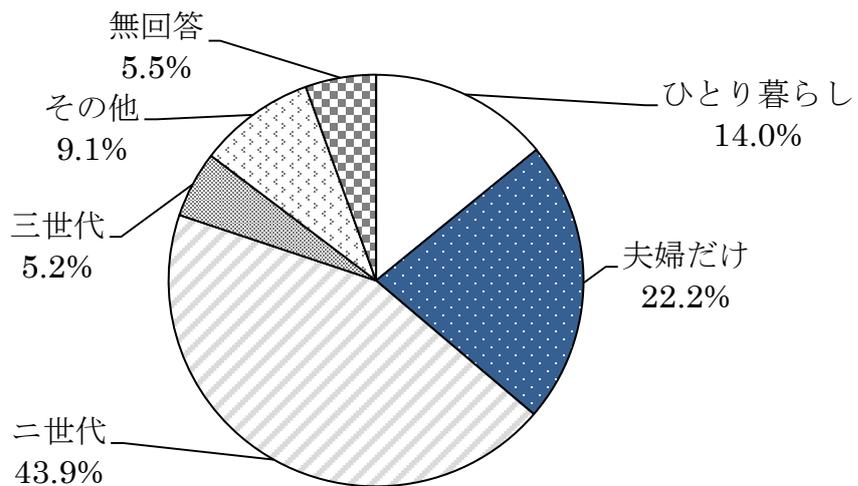
**居住開始時期 (n = 1018)**



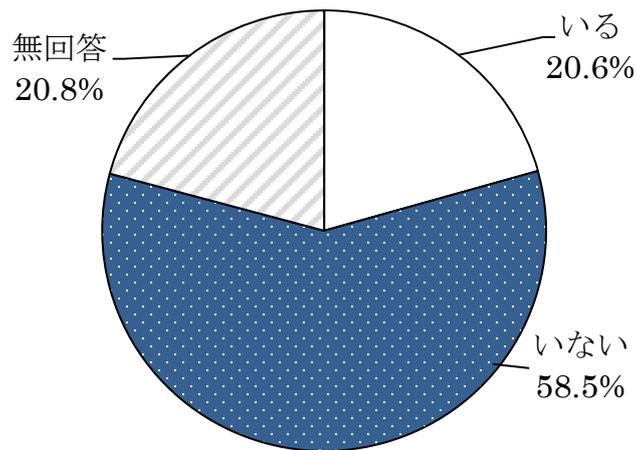
**居住希望 (n = 1018)**



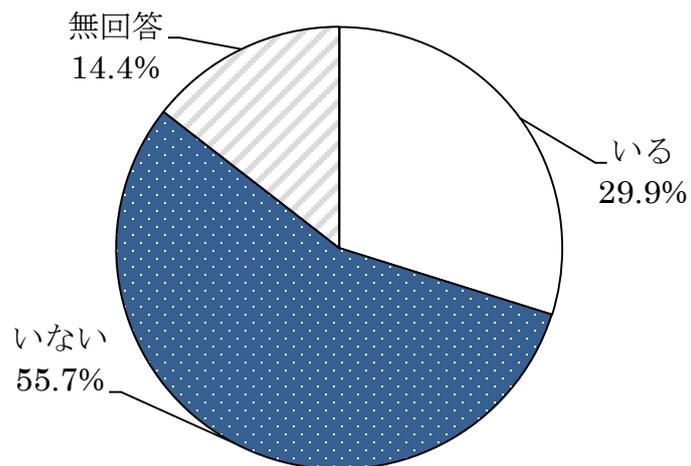
**世帯構成 (n = 1018)**



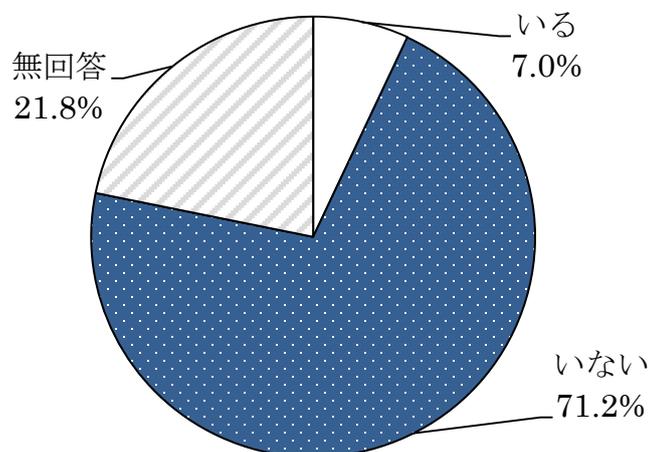
同居児童（小学生以下）（n=1018）



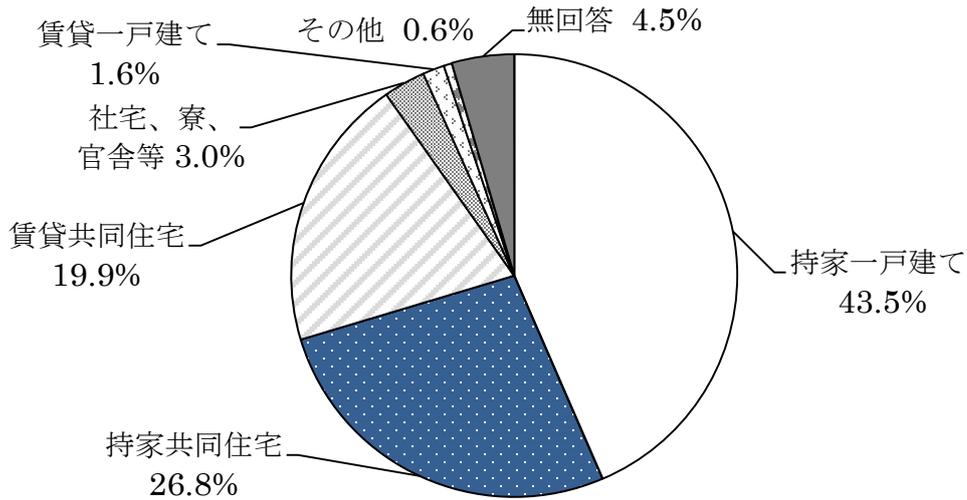
同居高齢者（65歳以上）（n=1018）



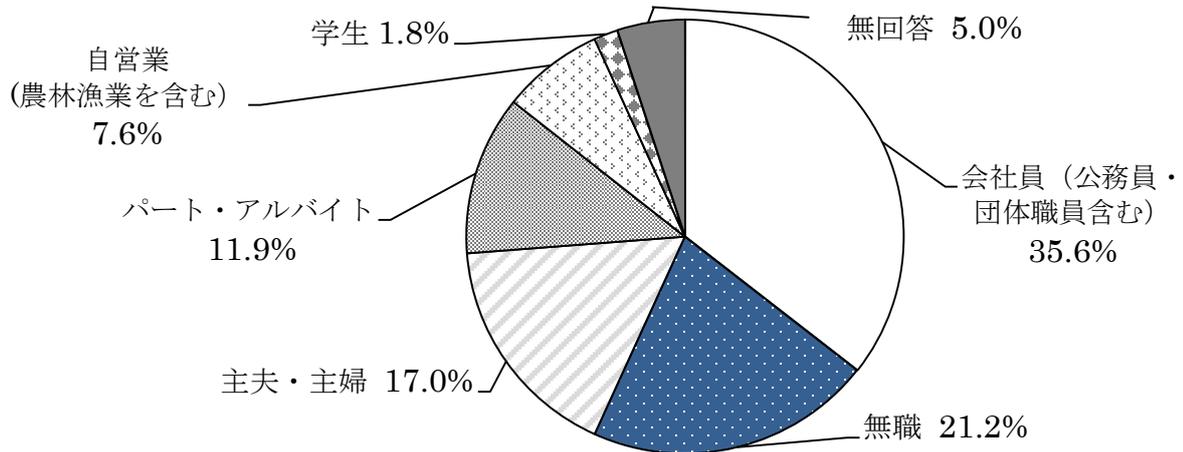
要介護等支援が必要な人の同居（n=1018）



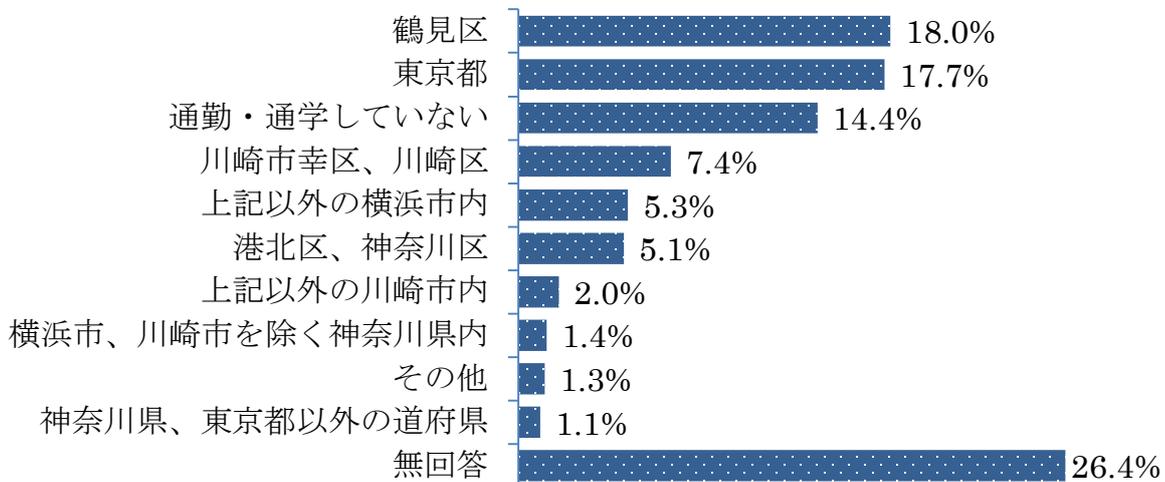
**住居形態 (n=1018)**



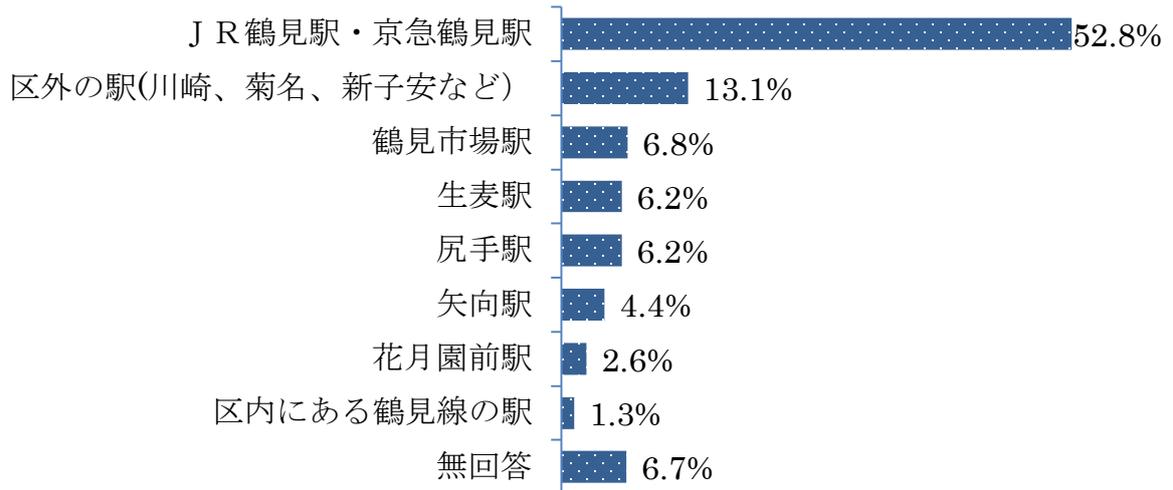
**職業 (n=1018)**



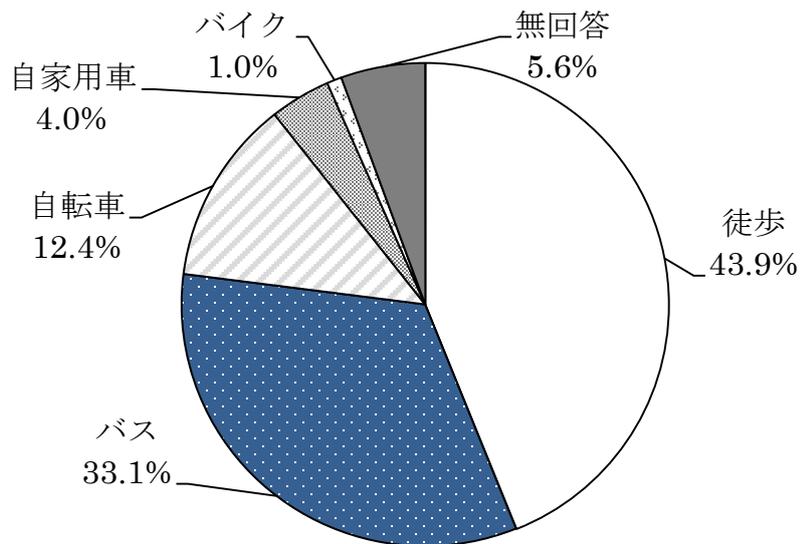
**勤務先・通学先の所在地 (n=1018)**



最寄駅 (n = 1018)



最寄駅までの交通手段 (n = 1018)



### Ⅲ. 集計結果

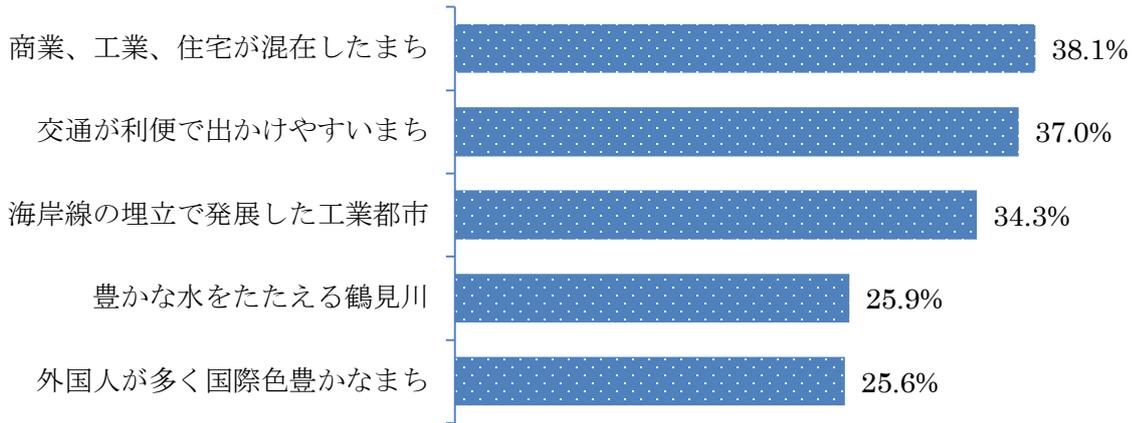
#### 1. 鶴見区について(問1～問4)

**鶴見区のイメージは**、「商業、工業、住宅が混在した昔ながらのまち」、「交通の利便性が高く出かけやすいまち」、「海岸線の埋立てにより発展した工業都市」が多い。

**望ましい将来像は**、「治安がよい安心して暮らせるまち」、「こどもから高齢者、障害者など、すべての人にやさしいまち」、「静かで落ち着いた良好な住宅地」の順に多い。

**住み心地と愛着度については**、「(とても・どちらかというと) 住みやすい」が74.8%、「(とても) 愛着がある」が64.1%である。

問1 鶴見区の特徴・イメージとして、あなたが思うものを教えてください。(〇は3つまで)

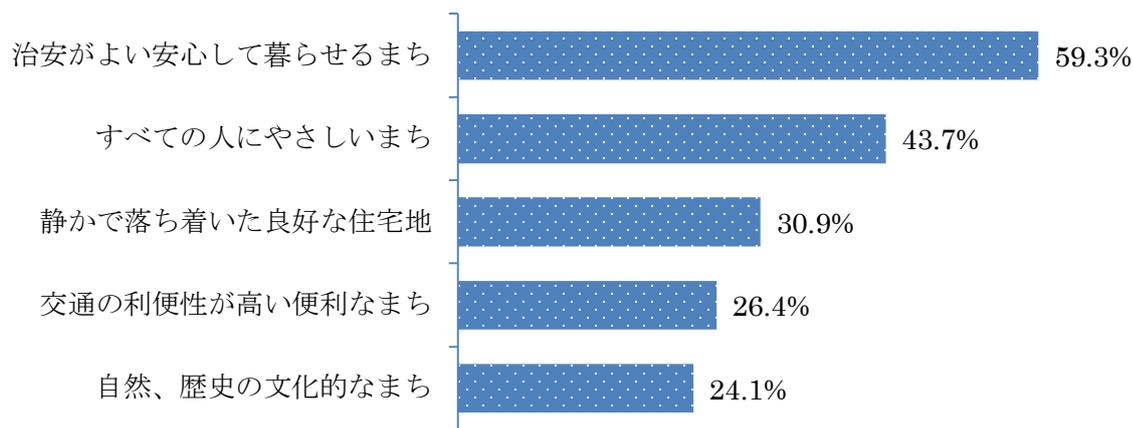


図表1 鶴見区の特徴・イメージ (14項目から3つまで選択、上位5つを表示) n=1,018

● 鶴見区の特徴・イメージ (上位5位の経年変化)					
	1位	2位	3位	4位	5位
19年	商業、工業、住宅が混在した昔ながらのまち 51.2	海岸線の埋立てにより発展した工業都市 47.0	交通の利便性が高く出かけやすいまち 42.3	「鶴見区」の区名にもある、豊かな水をたたえる鶴見川 31.3	買い物がしやすく生活に便利なまち 26.4
20年	商業、工業、住宅が混在した昔ながらのまち 49.8	海岸線の埋立てにより発展した工業都市 43.0	交通の利便性が高く出かけやすいまち 41.9	「鶴見区」の区名にもある、豊かな水をたたえる鶴見川 32.3	買い物がしやすく生活に便利なまち 27.1
21年	商業、工業、住宅が混在した昔ながらのまち 46.0	海岸線の埋立てにより発展した工業都市 41.9	交通の利便性が高く出かけやすいまち 41.8	「鶴見区」の区名にもある、豊かな水をたたえる鶴見川 34.5	買い物がしやすく生活に便利なまち 25.1
22年	商業、工業、住宅が混在した昔ながらのまち 49.3	交通の利便性が高く出かけやすいまち 43.2	海岸線の埋立てにより発展した工業都市 43.0	「鶴見区」の区名にもある、豊かな水をたたえる鶴見川 29.7	外国人が多く国際色豊かなまち 25.0
23年	交通の利便性が高く出かけやすいまち 36.5	商業、工業、住宅が混在した昔ながらのまち 34.9	海岸線の埋立てにより発展した工業都市 33.3	「鶴見区」の区名にもある、豊かな水をたたえる鶴見川 26.5	買い物がしやすく生活に便利なまち 24.9
24年	商業、工業、住宅が混在した昔ながらのまち 38.1	交通の利便性が高く出かけやすいまち 37.0	海岸線の埋立てにより発展した工業都市 34.3	「鶴見区」の区名にもある、豊かな水をたたえる鶴見川 25.9	外国人が多く国際色豊かなまち 25.6

図表1-1 鶴見区の特徴・イメージ (上位5項目・H19年～H24年の経年変化)

問2 鶴見区の将来像として、あなたが望むものはなんですか。(○は3つまで)



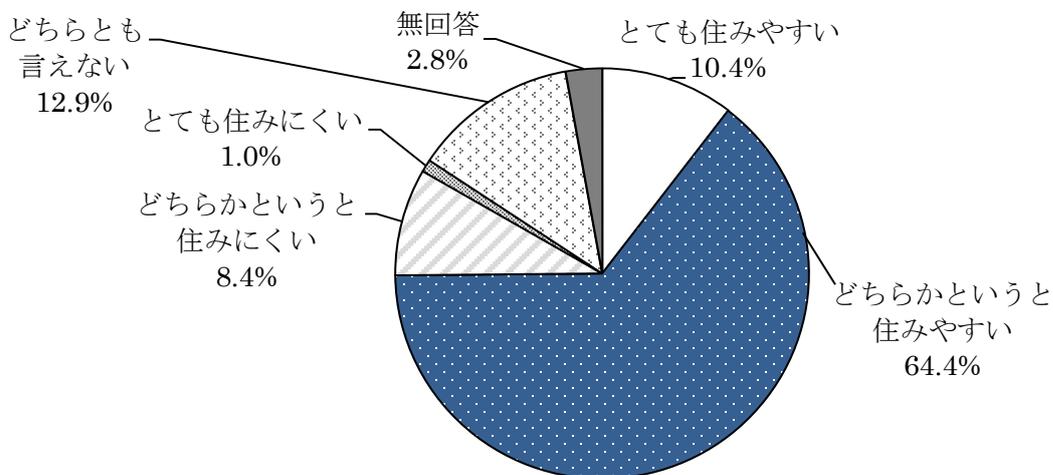
図表2 望ましい鶴見区の将来像 n=1,018 (14項目から3つまで選択、上位5つを表示)

● 鶴見区の将来像として望むもの (上位5つの経年変化)

	1位	2位	3位	4位	5位
19年	治安がよい安心して暮らせるまち 62.5	子どもから高齢者、障害者など、すべての人にやさしいまち 45.9	静かで落ち着いた良好な住宅地 33.7	自然が多く、歴史が感じられる文化的なまち 32.1	交通の利便性が高い便利なまち 27.6
20年	治安がよい安心して暮らせるまち 60.7	子どもから高齢者、障害者など、すべての人にやさしいまち 43.9	静かで落ち着いた良好な住宅地 32.1	自然が多く、歴史が感じられる文化的なまち 31.2	交通の利便性が高い便利なまち 28.8
21年	治安がよい安心して暮らせるまち 59.1	子どもから高齢者、障害者など、すべての人にやさしいまち 46.4	静かで落ち着いた良好な住宅地 33.1	自然が多く、歴史が感じられる文化的なまち 30.1	交通の利便性が高い便利なまち 29.1
22年	治安がよい安心して暮らせるまち 58.2	子どもから高齢者、障害者など、すべての人にやさしいまち 47.1	静かで落ち着いた良好な住宅地 31.8	交通の利便性が高い便利なまち 30.8	自然が多く、歴史が感じられる文化的なまち 27.4
23年	治安がよい安心して暮らせるまち 51.9	子どもから高齢者、障害者など、すべての人にやさしいまち 38.4	静かで落ち着いた良好な住宅地 34.6	自然が多く、歴史が感じられる文化的なまち 27.3	交通の利便性が高い便利なまち 25.9
24年	治安がよい安心して暮らせるまち 59.3	子どもから高齢者、障害者など、すべての人にやさしいまち 43.7	静かで落ち着いた良好な住宅地 30.9	交通の利便性が高い便利なまち 26.4	自然が多く、歴史が感じられる文化的なまち 24.1

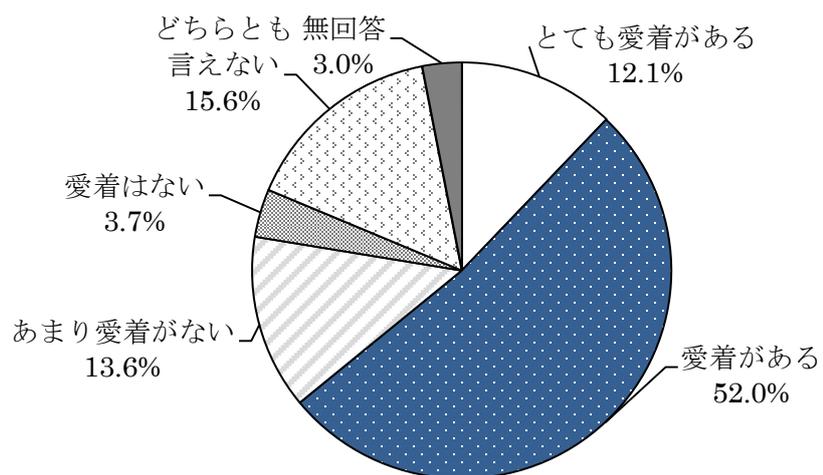
図表2-1 望ましい鶴見区の将来像 (上位5項目・H19年～H24年の経年変化)

問3 鶴見区の住み心地をどのように思われますか。(○は1つだけ)



図表3 鶴見区の住み心地 n=1,018

問4 鶴見区に愛着を感じていますか。(〇は1つだけ)



図表4 鶴見区への愛着度 n=1,018

## 2. 生活環境全般に対する重要度・満足度について(問5)

生活環境についての重要度は、「①バス・電車の便」、「⑬病院や救急医療などの地域医療」、「⑩防犯対策」「⑨災害対策」が特に高い。また、生活環境についての満足度については、「①バス・電車の便」が特に高いが、その他は、全体的に低い。特に「③違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」、「④最寄駅周辺のまちづくり」、「⑥商店街や企業の振興」、「⑩防犯対策」への不満は10%を超えている。

生活環境の変化については、「⑭駅舎のバリアフリー等、誰もが移動しやすいまちづくり」や「⑧ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」が「良くなった」との評価が多い。

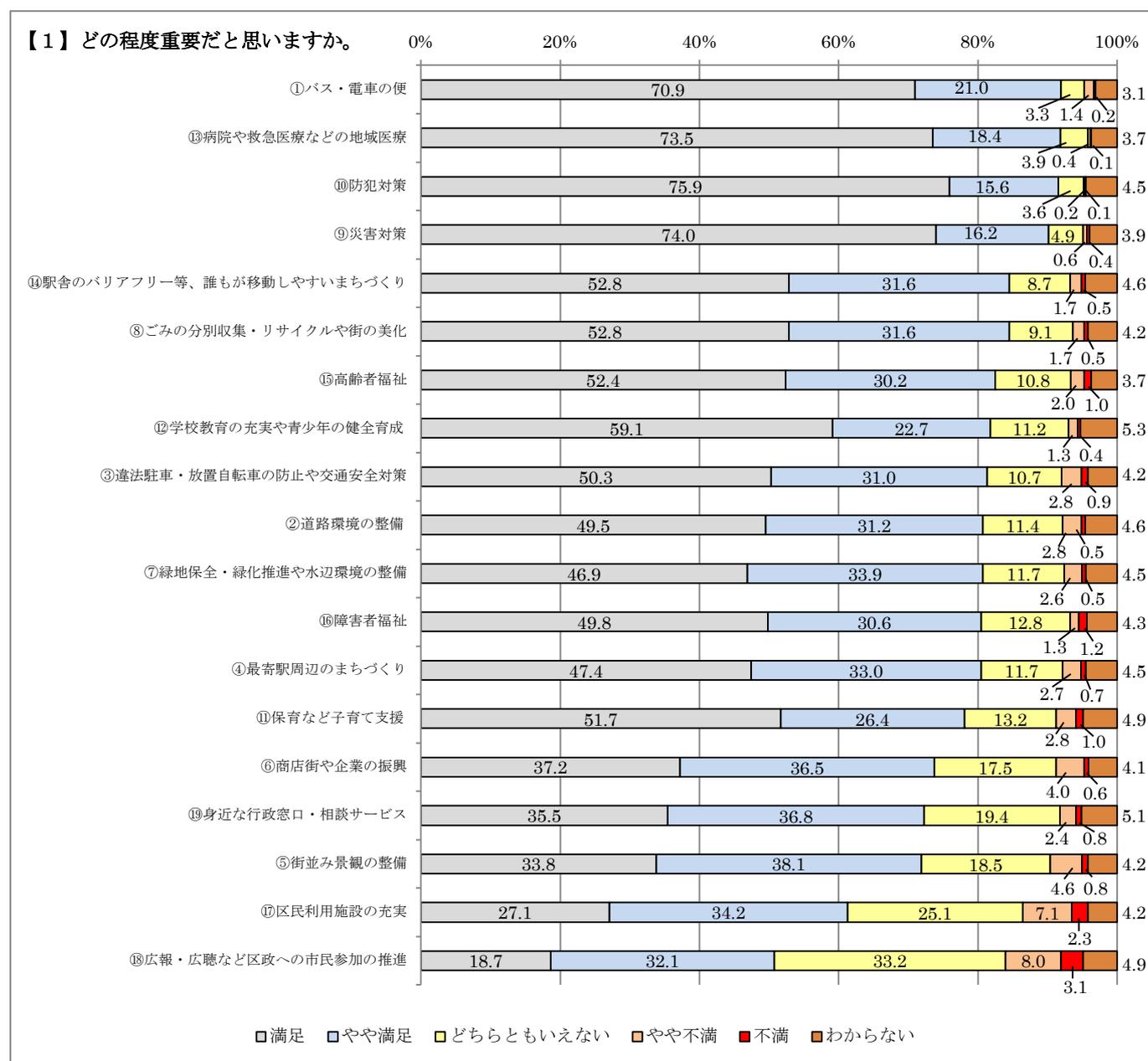
他方、「⑥商店街や企業の振興」については、「悪くなった」が「良くなった」との評価よりも多い。「⑳以上を総合して、生活環境全般の満足度」は、「変わらない」との評価が50.4%であるが、「悪くなった」(3.1%)よりも、「良くなった」(13.2%)との評価が多い。

問5 あなたは以下(①～⑳)のことがらについて、【1】どの程度重要だと思いますか。

【2】現在、どの程度満足していますか。

【3】以前に比べてどのように変化していると思いますか。

(○は1つだけ)

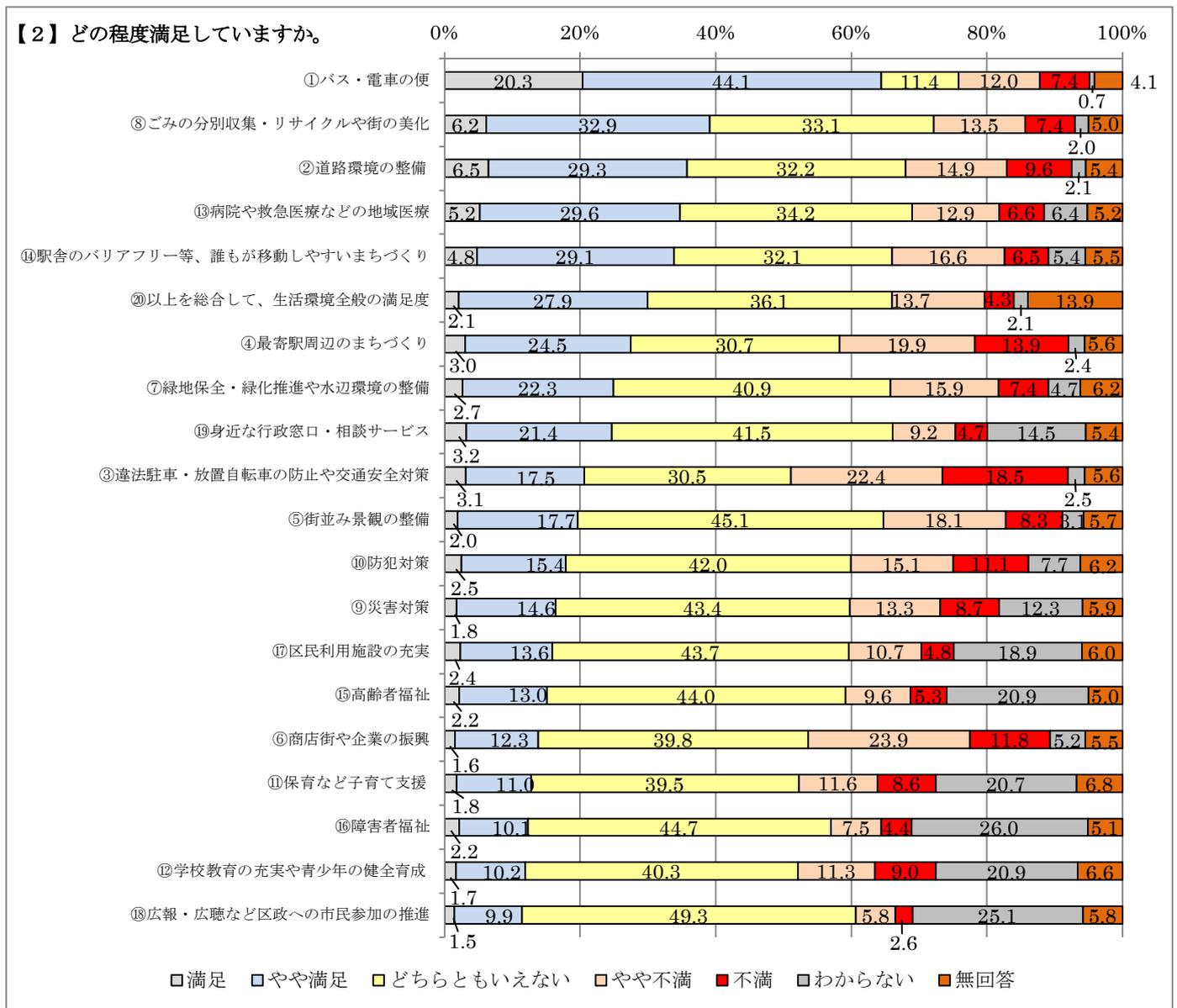


図表5 生活環境についての重要度

n=1,018

● 生活環境全般に対する重要度（重要度の高い順）					
	1位	2位	3位	4位	5位
19年	防犯対策 78.1	病院や救急医療などの地域医療 76.7	災害対策 71.2	バス・電車の便 70.7	高齢者福祉 56.6
20年	病院や救急医療などの地域医療 79.8	防犯対策 77.8	バス・電車の便 70.8	災害対策 70.5	高齢者福祉 58.3
21年	病院や救急医療などの地域医療 77.4	防犯対策 74.4	バス・電車の便 69.8	災害対策 69.5	高齢者福祉 59.0
22年	防犯対策 74.4	バス・電車の便 71.8	災害対策 68.9	学校教育の充実や青少年の健全育成 56.9	高齢者福祉 55.6
23年	バス・電車の便 71.7	防犯対策 70.7	災害対策 67.9	病院や救急医療などの地域医療 67.6	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 52.5
24年	防犯対策 75.9	災害対策 74.0	病院や救急医療などの地域医療 73.5	バス・電車の便 70.9	学校教育の充実や青少年の健全育成 59.1

図表 5-1 生活環境についての重要度（上位5項目・H19年～H24年の経年変化）



図表 6 生活環境についての満足度

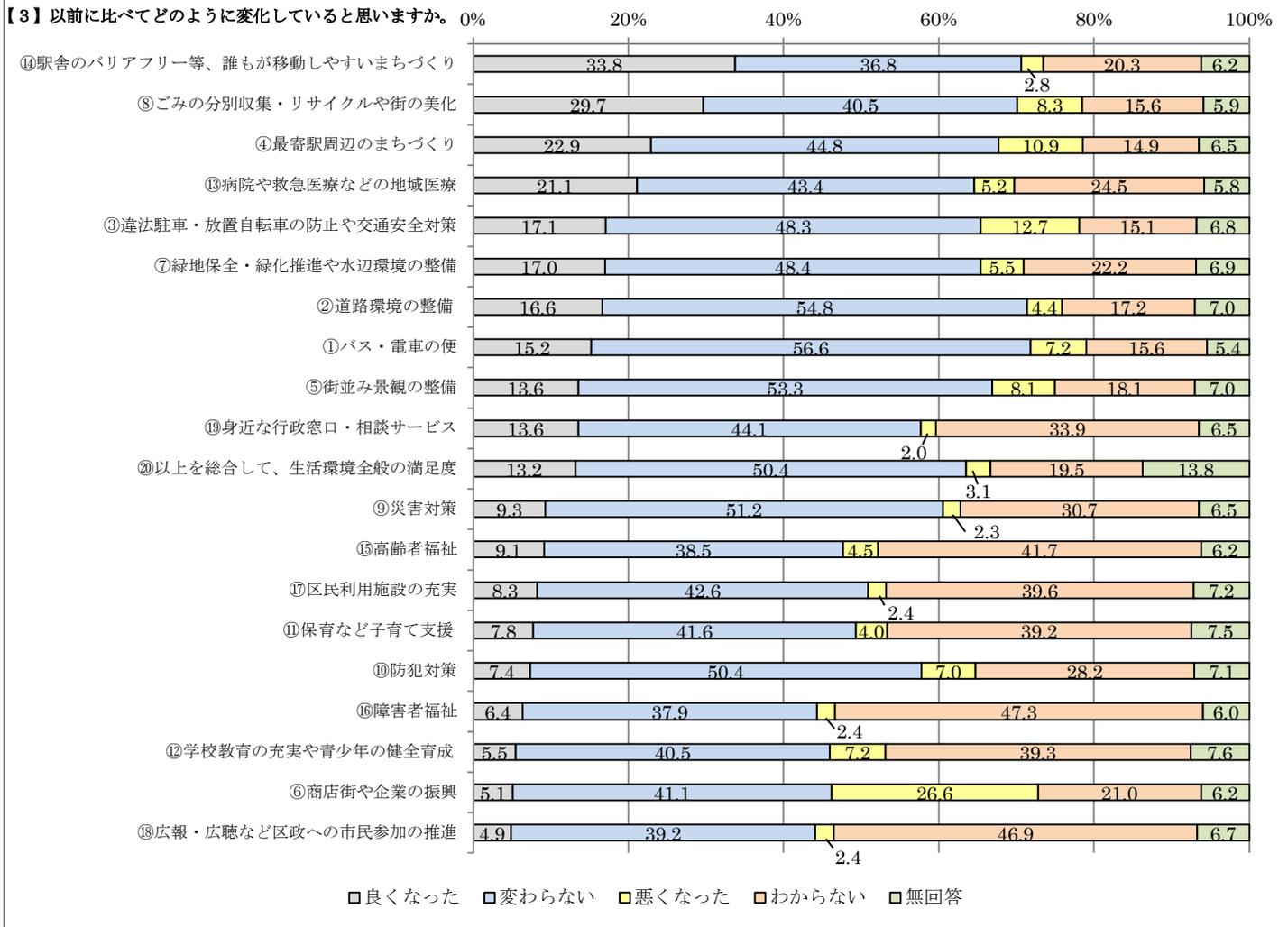
n=1,018

● 現在の満足度（「満足」＋「やや満足」上位5位経年）					
	1位	2位	3位	4位	5位
19年	バス・電車の便 58.7	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 39.6	道路環境の整備 32.3	病院や救急医療などの地域医療 28.0	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備 26.0
20年	バス・電車の便 61.7	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 39.1	道路環境の整備 34.0	病院や救急医療などの地域医療 26.2	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備 26.2
21年	バス・電車の便 64.8	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 41.1	道路環境の整備 38.9	病院や救急医療などの地域医療 29.5	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備 28.2
22年	バス・電車の便 61.1	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 39.5	道路環境の整備 36.0	病院や救急医療などの地域医療 32.2	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 31.4
23年	バス・電車の便 62.6	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 38.9	道路環境の整備 38.4	病院や救急医療などの地域医療 32.9	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 30.1
24年	バス・電車の便 64.4	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 39.1	道路環境の整備 35.8	病院や救急医療などの地域医療 34.8	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 33.9

図表 6-1 生活環境についての満足度（「満足」＋「やや満足」上位5項目・H19～H24 経年変化）

● 現在の満足度（「不満」＋「やや不満」上位5位経年）					
	1位	2位	3位	4位	5位
19年	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 46.1	最寄り駅周辺のまちづくり 37.7	商店街や企業の振興 34.9	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 31.6	街並み景観の整備 31.0
20年	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 44.9	最寄り駅周辺のまちづくり 38.1	商店街や企業の振興 37.6	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 31.7	病院や救急医療などの地域医療 30.9
21年	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 43.9	最寄り駅周辺のまちづくり 39.4	商店街や企業の振興 38.6	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 32.1	病院や救急医療などの地域医療 28.8
22年	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 43.2	商店街や企業の振興 37.3	最寄り駅周辺のまちづくり 37.2	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 28.4	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備 26.9
23年	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 39.9	最寄り駅周辺のまちづくり 31.7	商店街や企業の振興 31.5	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 22.8	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 21.7
24年	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 40.9	商店街や企業の振興 35.7	最寄り駅周辺のまちづくり 33.8	街並み景観の整備 26.4	防犯対策 26.2

図表 6-2 生活環境についての不満度（「不満」＋「やや不満」上位5項目・H19～H24 経年変化）



図表 7 生活環境について以前からの変化 n=1,018

● 生活環境について 以前に比べて（「良くなった」上位5位経年）

	1位	2位	3位	4位	5位
19年	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 39.9	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 27.1	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備 21.4	道路環境の整備 19.2	病院や救急医療などの地域医療 19.2
20年	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 39.1	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 25.3	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備 19.4	道路環境の整備 18.1	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 18.1
21年	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 37.3	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 27.5	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備 21.2	道路環境の整備 19.8	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 18.3
22年	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 34.4	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 33.5	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備 21.6	道路環境の整備 20.1	病院や救急医療などの地域医療 20.1
23年	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 29.2	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 29.2	最寄り駅周辺のまちづくり 21.3	病院や救急医療などの地域医療 19.7	道路環境の整備 18.2
24年	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 33.8	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 29.7	最寄り駅周辺のまちづくり 22.9	病院や救急医療などの地域医療 21.1	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 17.1

図表 7-1 生活環境について以前に比べて（「良くなった」上位5項目・H19～H24 経年変化）

● 生活環境について 以前に比べて（「悪くなった」上位5位経年）					
	1位	2位	3位	4位	5位
19年	商店街や企業の振興 25.8	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 15.5	学校教育の充実や青少年の健全育成 12.0	防犯対策 11.7	街並み景観の整備 9.8
20年	商店街や企業の振興 30.9	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 15.8	最寄り駅周辺のまちづくり 12.9	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 11.6	病院や救急医療などの地域医療 10.9
21年	商店街や企業の振興 30.7	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 15.3	最寄り駅周辺のまちづくり 14.4	防犯対策 10.5	病院や救急医療などの地域医療 9.8
22年	商店街や企業の振興 29.5	最寄り駅周辺のまちづくり 14.5	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 14.0	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 12.6	街並み景観の整備/ 学校教育の充実や青少年の健全育成 9.0
23年	商店街や企業の振興 23.4	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 13.1	最寄り駅周辺のまちづくり 11.7	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 9.8	街並み景観の整備 6.4
24年	商店街や企業の振興 26.6	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策 12.7	最寄り駅周辺のまちづくり 10.9	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 8.3	街並み景観の整備 8.1

図表 7-2 生活環境について以前に比べて（「悪くなった」上位5項目・H19～H24 経年変化）

### 3. 防災について(問 6～問 10)

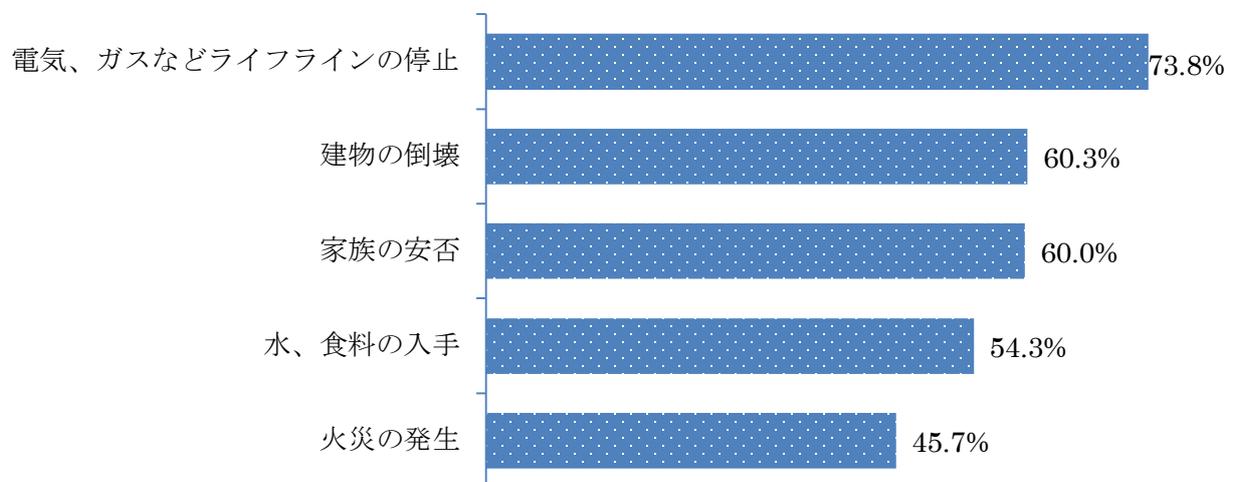
大きな地震が起きると想定した時、特に心配なことは、「電気、ガスなどのライフラインの停止」、「建物の倒壊」、「家族の安否」、「水、食料の入手」、「火災の発生」の順に多い。また、風水害が起きると想定した時、特に心配なことは、地震時と大きな差はないが、「家族の安否」、「火災の発生」に代わり、「交通機関のマヒ」、「堤防の決壊」が多い。

自治会町内会等で行われている防災活動に参加したことがない人は、71.6%であるが、不参加の理由は、「仕事が忙しく時間的に余裕がない」、「参加したいが情報が入らないから」、「地域の人たちと交流がないから」が多く、「今後参加したいと思っている」は20.2%である。

また、地震対策としての備えは、「水や食料の備蓄」、「家具の転倒防止」、「家族における話し合い」、「避難場所や避難経路の確認」、「消火器の準備」の順に多い。

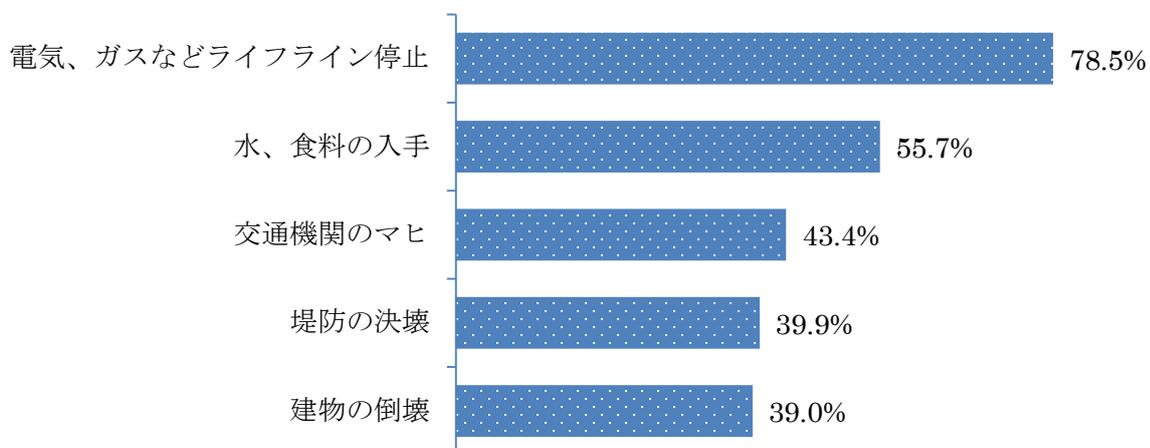
防災ガイド・マップについては、「分かりにくい」が4.7%であるが、その内、「地図の部分の分かりにくい」が47.1%である。防災ガイドマップを「見たことがない」も44.4%である。

問 6 大きな地震が起きると想定したとき、特に心配なのはどのようなことですか。(〇は5つまで)



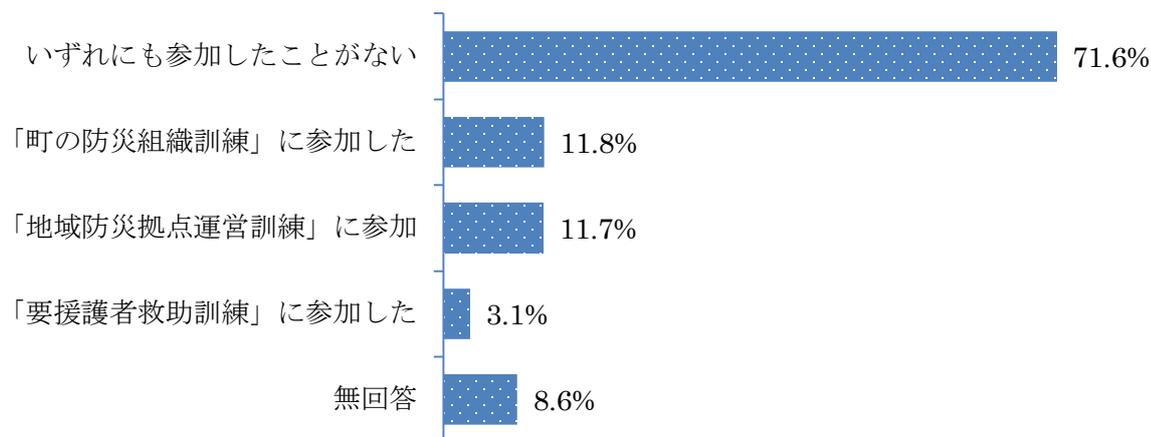
図表 8 大きな地震時に心配なこと (17項目から5つまで選択、上位5つを表示) n=1,018

問 7 洪水や台風、大雨などの風水害が起きると想定したとき、特に心配なのはどのようなことですか。(〇は5つまで)



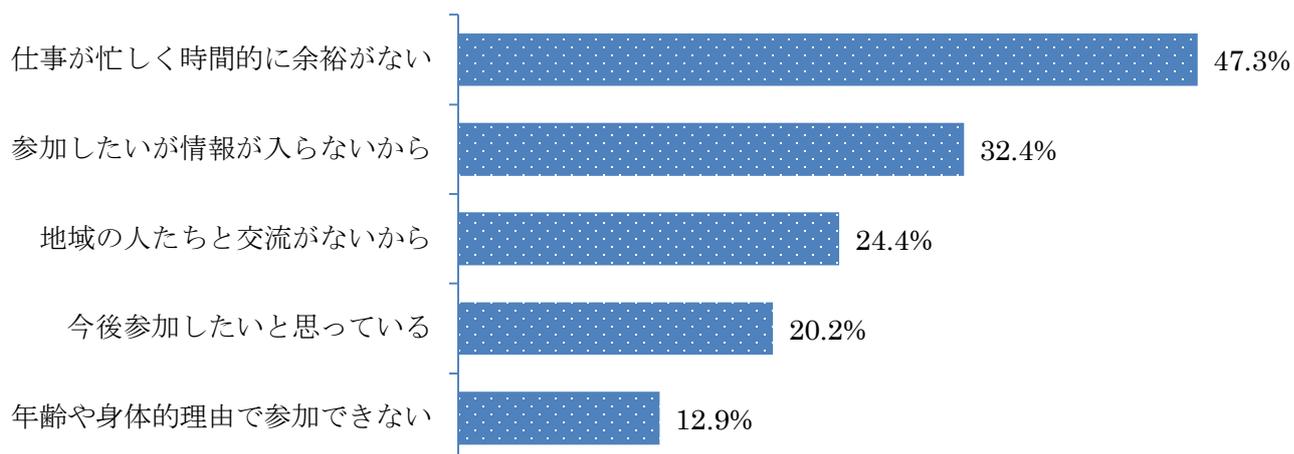
図表 9 風水害時に心配なこと (13項目から5つまで選択、上位5つを表示) n=1,018

問8 震災時の避難場所である地域防災拠点（小・中学校）の「地域防災拠点運営訓練」、各自治会町内会における「町の防災組織訓練」、災害時に避難が困難となる方々を支援する「要援護者救援訓練」などが、各地区で行われていますが、これらの防災活動に参加していますか。（〇はいくつでも）



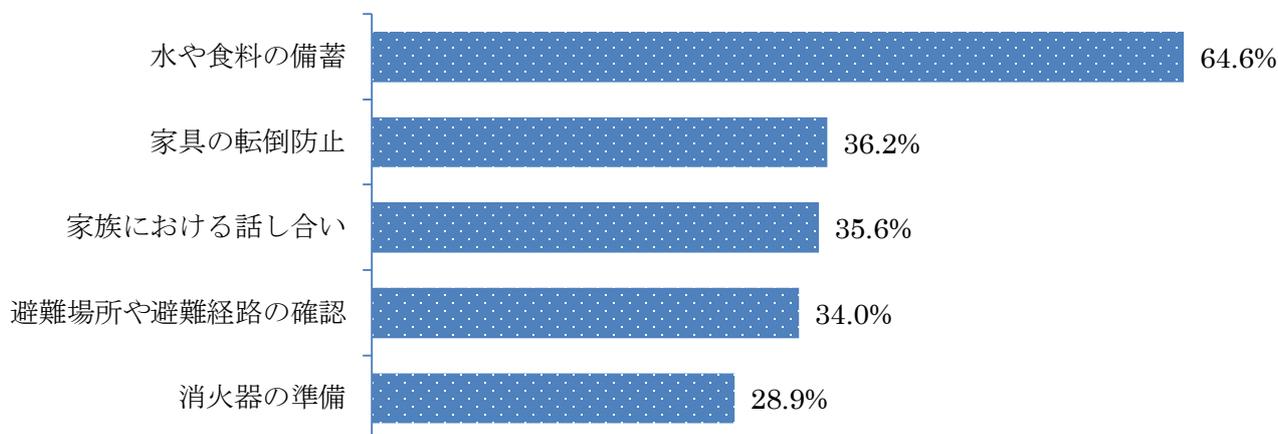
図表 10 防災活動への参加 n=1,018

問8-1 理由は何ですか。（問8で『4 参加したことがない』と答えた方のみ）（〇はいくつでも）



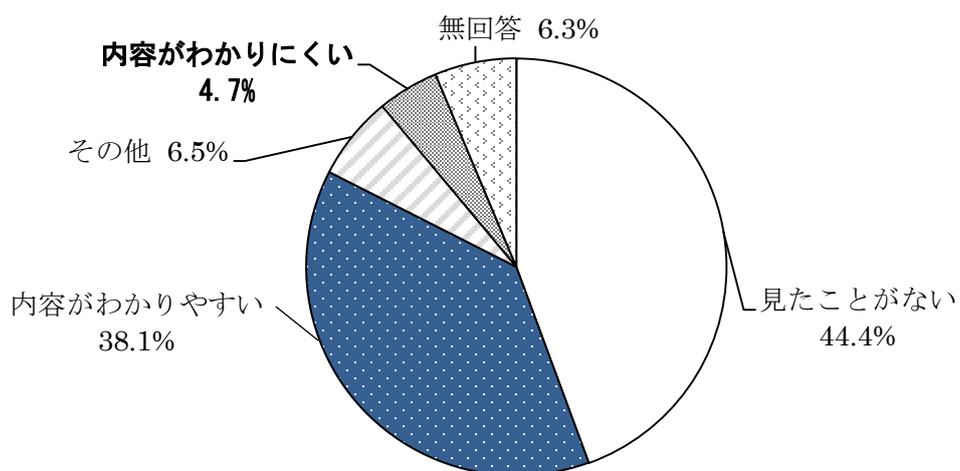
図表 11 防災活動への不参加の理由（8項目から選択、上位5つを表示） n=729

問9 あなたは地震対策として、ご自分でどのような備えをしていますか。（〇はいくつでも）



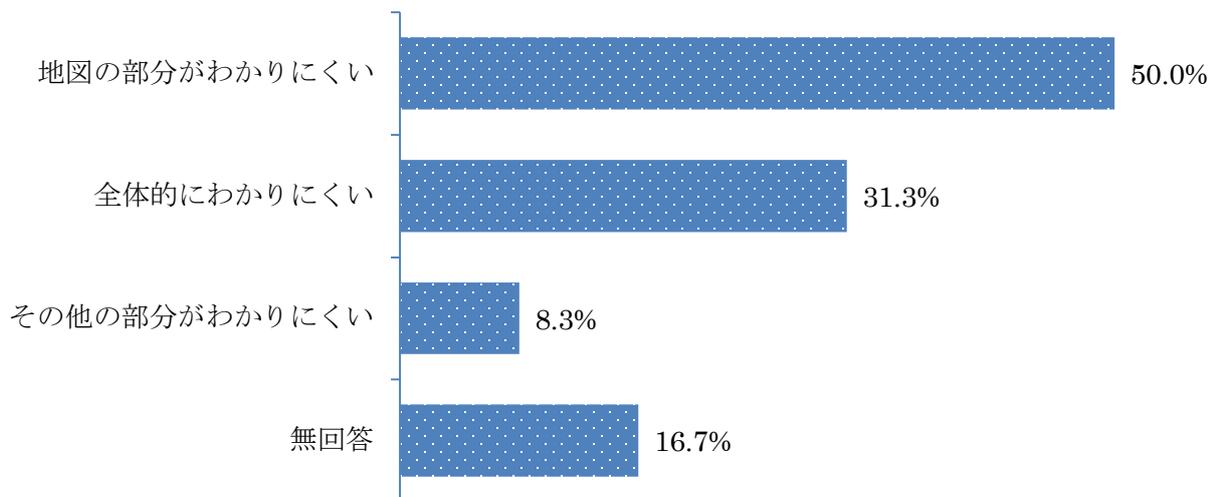
図表 12 地震対策としての備え（8項目から選択、上位5つを表示） n=1,018

問10 鶴見区では今年3月に震災時の備えとして「防災ガイド・マップ」を各世帯に配布しましたが、いかがでしたか。(〇は1つだけ)



図表13 防災ガイド・マップについて n=1,018

問10-1 どのような点がわかりにくかったですか。(問10で『2 内容がわかりにくい』と答えた方のみ) (〇はいくつでも)



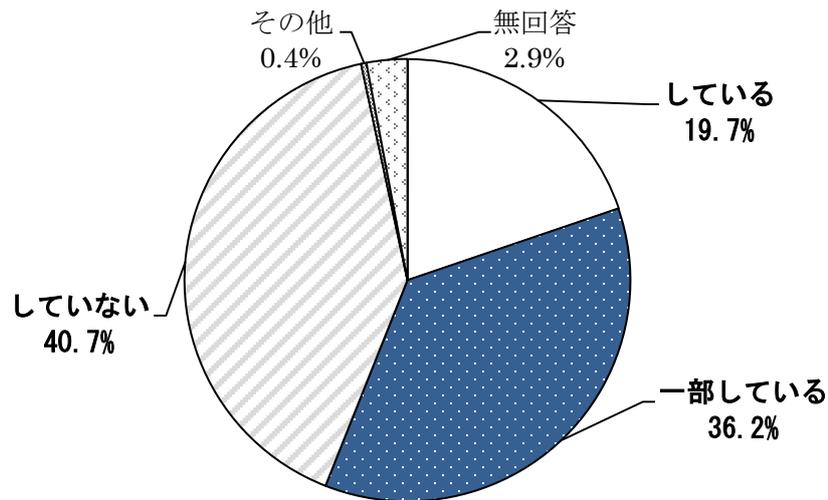
図表14 分かりにくかった点について n=48

#### 4. 家具等の転倒防止について(問 11～問 13)

家具等の転倒防止をしている人は、一部しているを含めると 55.9%である。転倒防止場所は、「寝室」、「居間（リビング）」、「台所」が多い。転倒防止措置をしている家具は、「食器棚」、「タンス」、「テレビ」の順に多い。

他方、転倒防止をしていない人は、40.7%であるが、その理由の上位は、「家具等の転倒防止の費用負担が大きい」、「転倒防止措置の方法がわからない」などである。また、今後も転倒防止措置をする予定がない人は、52.4%である。

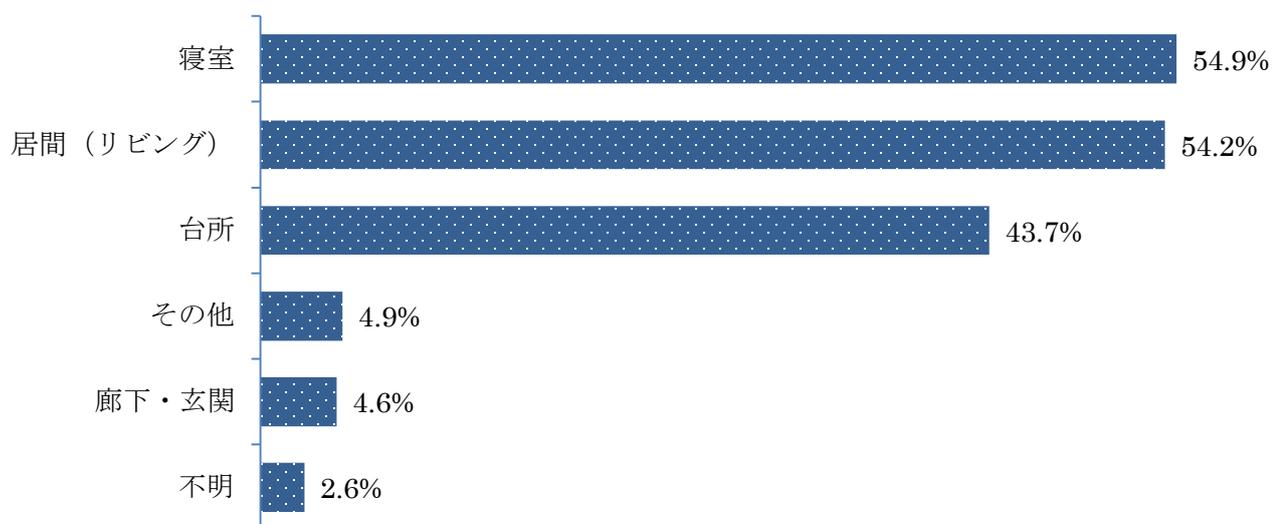
問 1 1 あなたの住まいでは家具等の転倒防止措置をしていますか。(○は1つだけ)



図表 15 家具等の転倒防止について n=1,018

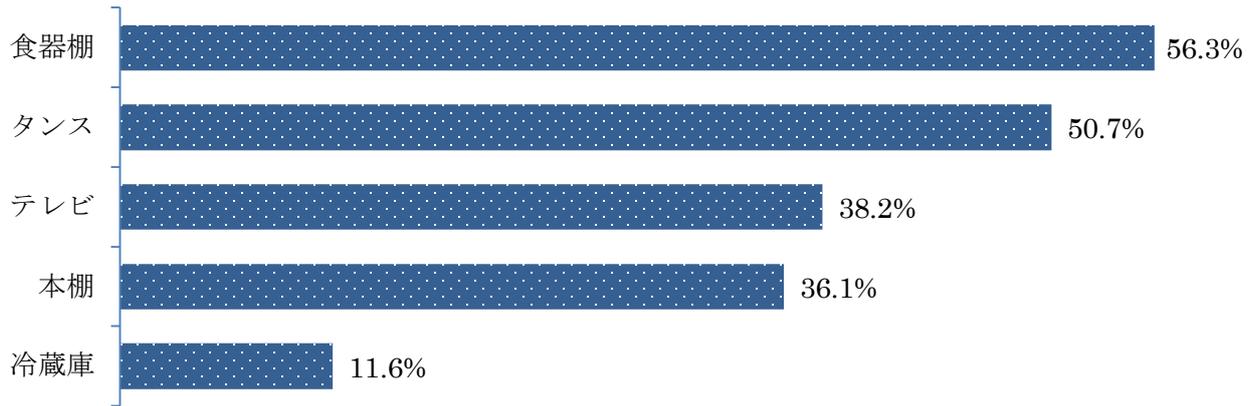
問 1 1 - 1 あなたの住まいで家具等の転倒防止措置をしている場所はどこですか。

(問 1 1 で『1 している』または『2 一部している』と答えた方) (○はいくつでも)



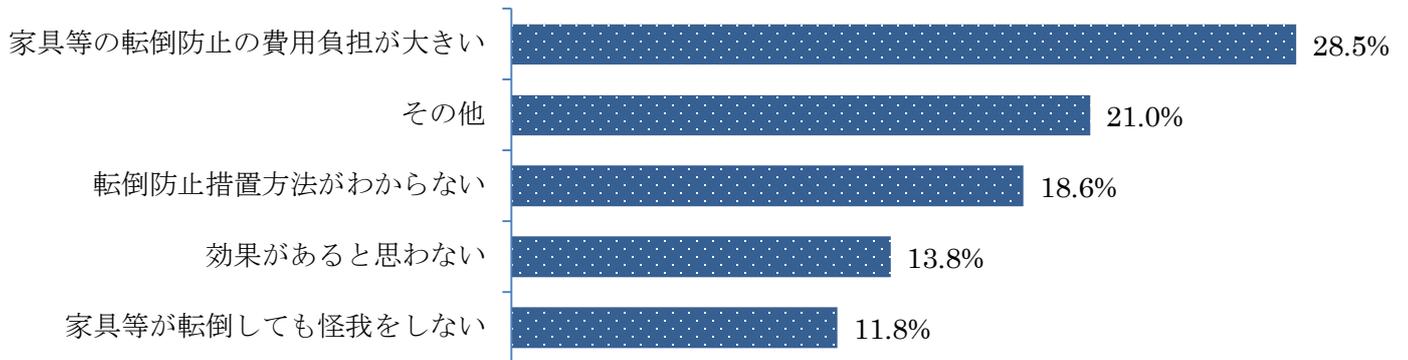
図表 16 家具の転倒防止場所について n=570

問11-2 あなたのお住まいで家具等の転倒防止措置をしている家具は何ですか。  
 (問11で『1 している』または『2 一部している』と答えた方) (〇はいくつでも)



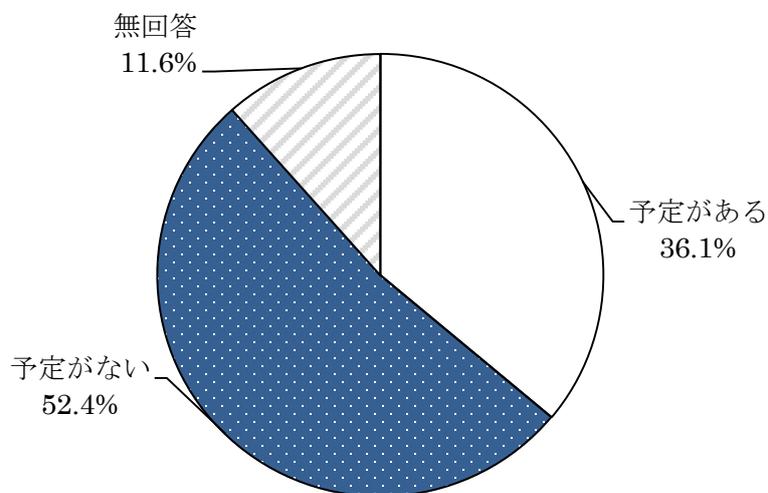
図表 17 転倒防止措置をしている家具 n=570

問12 あなたのお住まいで家具等の転倒防止措置をしていない理由は何ですか。  
 (問11で『3 していない』と答えた方) (〇はいくつでも)



図表 18 家具等の転倒防止措置をしていない理由 n=414

問13 今後、あなたのお住まいで家具等の転倒防止措置をする予定がありますか。  
 (問11で『2 一部している』、『3 していない』、『4 その他』と回答した方)



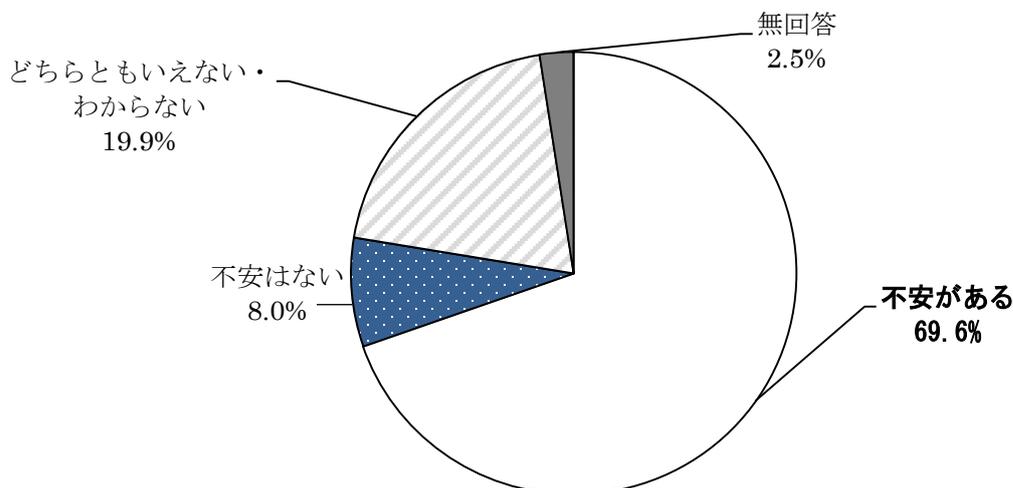
図表 19 転倒防止措置をする予定

## 5. 防犯について(問 14～問 16)

自身または家族が犯罪にあう不安を持っている人は、69.6%である。また、不安を感じている犯罪は、「ひったくり、暴行などの路上犯罪」、「ピッキングなどによる空き巣」、「自転車、オートバイ、自動車などの盗難」の順に多い。

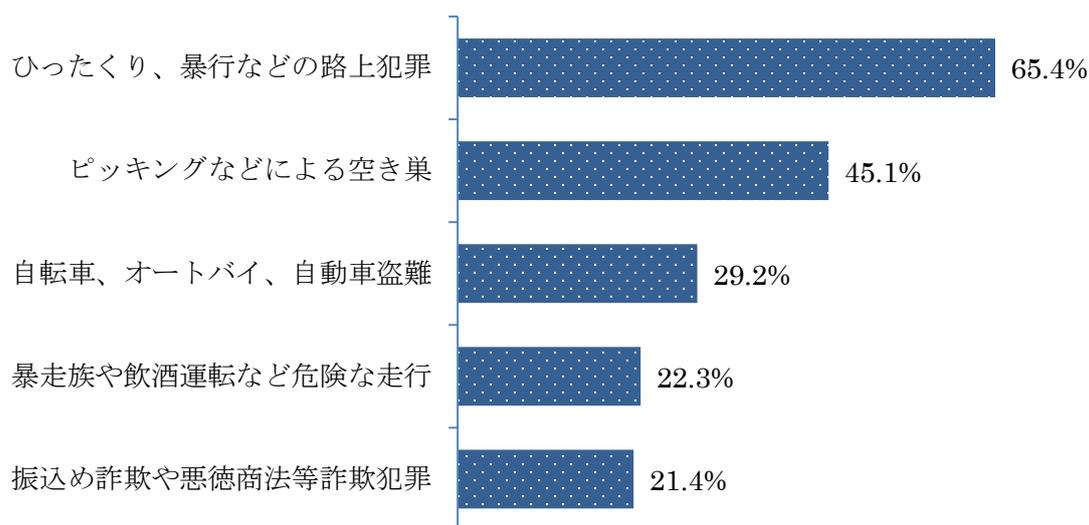
地域で取り組むべき防犯活動は、「防犯パトロール」、「犯罪発生情報の地域での共有」、「登下校時の見守り」の順に多く、必要な行政の支援策としては、「犯罪発生情報の地域への提供」、「防犯灯などの設置」が多い。

問 1 4 あなた自身又は御家族が、犯罪の被害にあうかもしれないという不安をお持ちですか。(○は1つだけ)



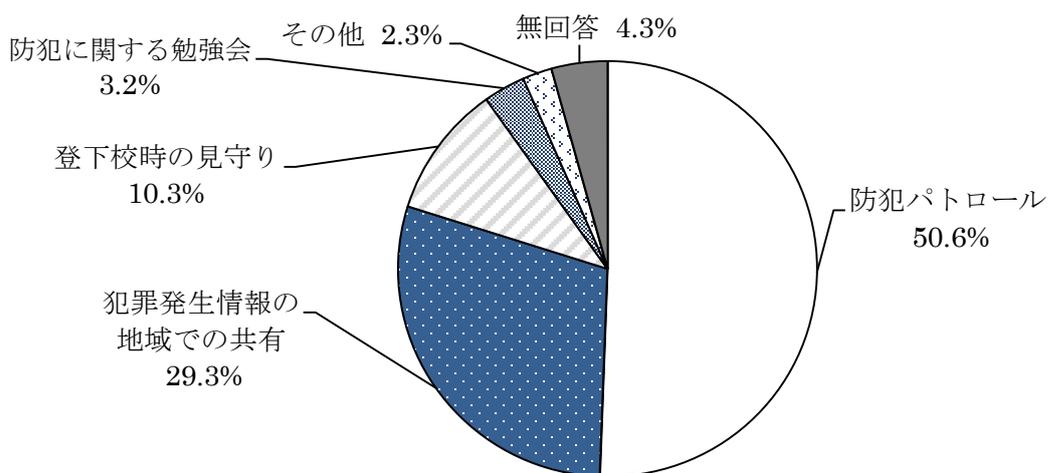
図表 20 自身または家族が犯罪にあう不安 n=1,018

問 1 4-1 どのような犯罪にあいそうな不安を感じますか。(問 1 4で『1 不安がある』と答えた方)  
(○は3つまで)



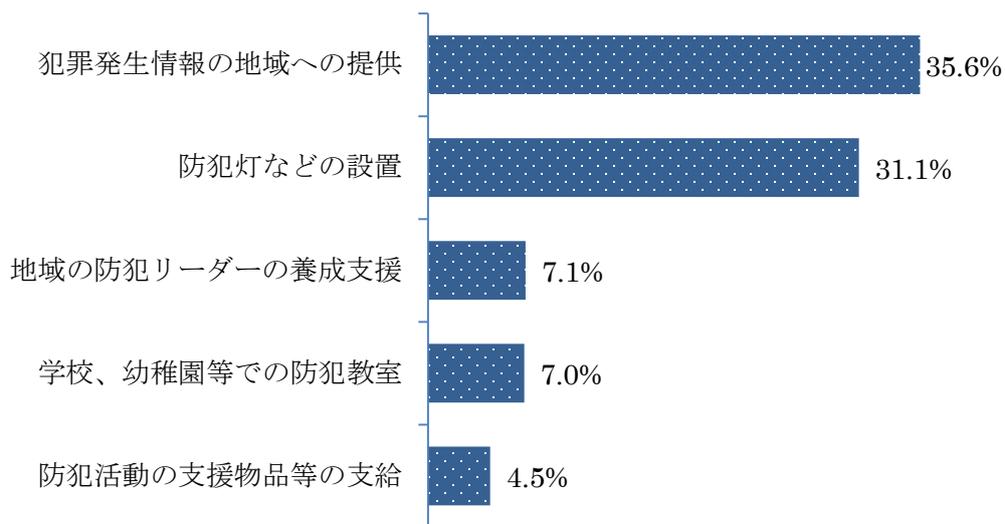
図表 21 あいそうな不安を感じる犯罪 (13項目から3つまで選択、上位5つを表示) n=709

問15 警察による取組以外に、地域で取り組む防犯活動として最も必要なことは何だと思えますか。  
(○は1つだけ)



図表22 地域で取り組むべき防犯活動 n=1,018

問16 行政の支援策として最も必要なことは何だと思えますか。(○は1つだけ)



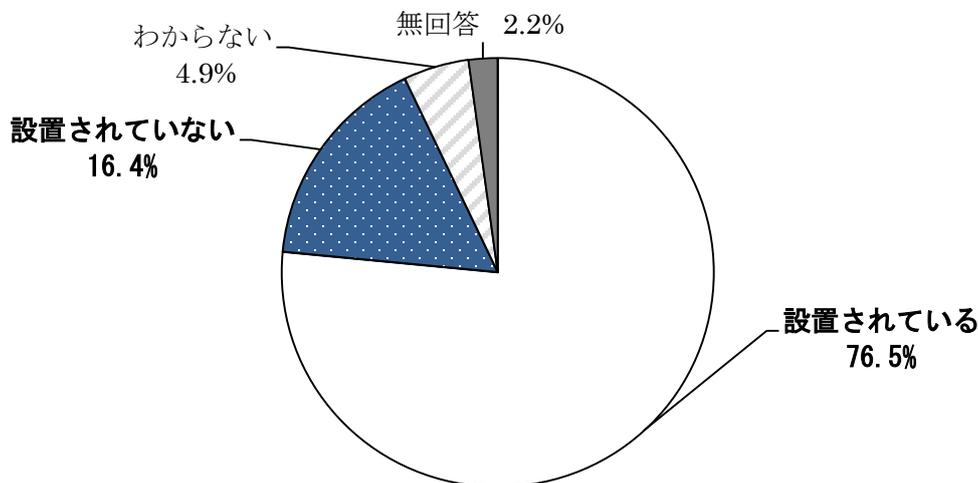
図表23 行政の支援策として最も必要なこと (9項目のうち上位5つを表示) n=1,018

## 6. 住宅用火災警報器について(問 17～問 18)

住宅用火災報知設備が「設置されている」は、76.5%である。設置場所は、「台所」、「寝室」、設置方法は、「自ら購入した」、「入居時等に既に設置してあった」が多い。

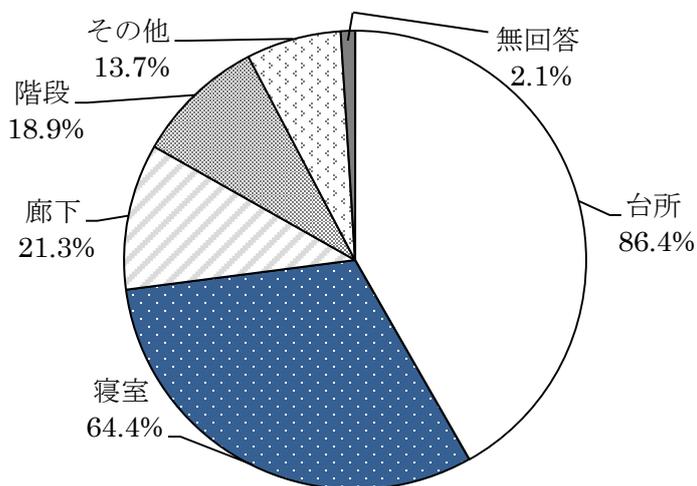
「設置されていない」は、16.4%であるが、その理由の上位は、「設置の費用負担が大きい」、「自分で設置することは難しい」である。

問 17 あなたの住まいには住宅用火災警報器又は自動火災報知設備が設置されていますか。(○は1つだけ)



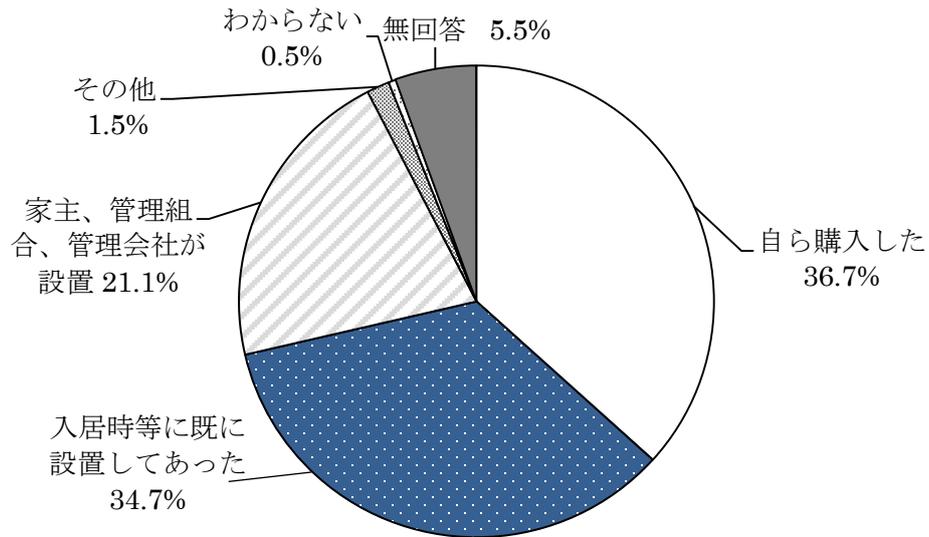
図表 24 住宅用火災報知機の設置 n=1,018

問 17-1 あなたの住まいで住宅用火災警報器などの感知器が設置されている場所はどこですか。  
(問 17で『1 設置されている』と答えた方のみ) (○はいくつでも)



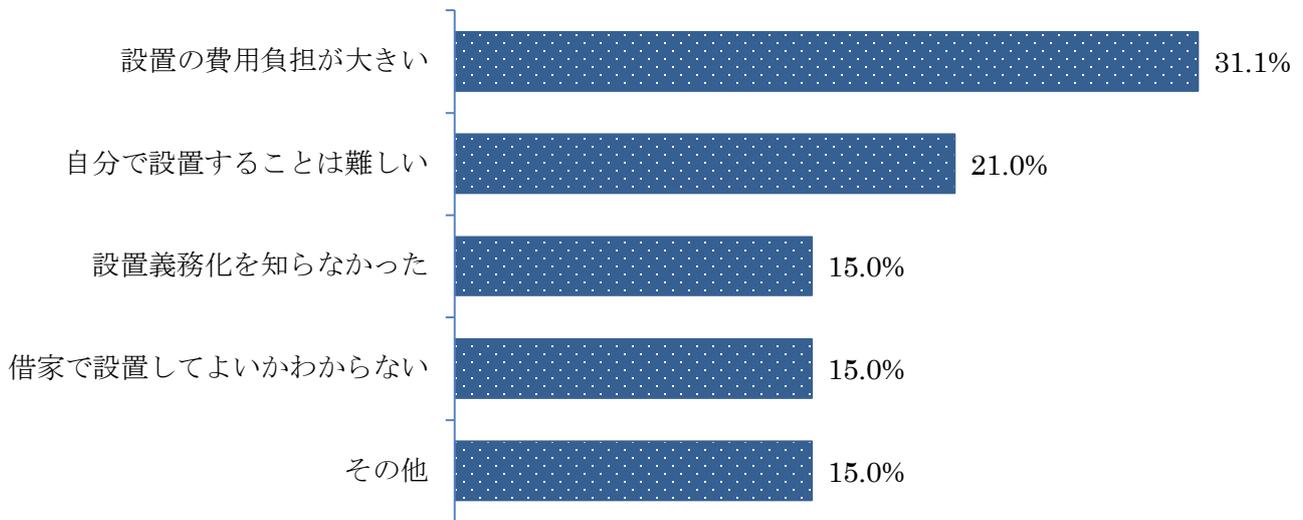
図表 25 住宅用火災報知機の設置場所 n=779

問17-2 どのようにして設置しましたか。(〇は1つだけ)



図表 26 住宅用火災報知機の設置方法 n=779

問18 住宅用火災警報器が設置されていない理由は何ですか。(問17で『2 設置されていない』と答えた方のみ) (〇はいくつでも)



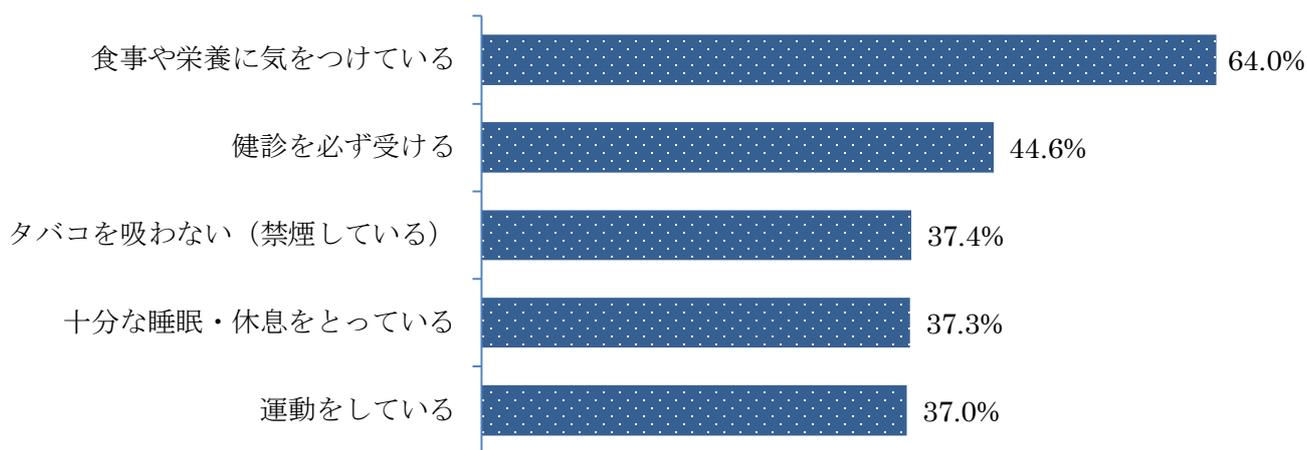
図表 27 設置されていない理由 n=167

## 7. 健康意識・ひざ痛の予防について(問 19～問 21)

健康を意識した行動は、「食事や栄養に気をつけている」、「健診を必ず受ける」、「タバコを吸わない(禁煙)」の順に多い。何もしていない人は、8.7%であるが、行動するための条件は、「身近に活動できる場所・施設があれば」、「すぐに結果・効果が表れるものがあれば」、「親しい人に誘われたら」の順に多い。

関節の痛みについては、「ない」が42.4%、次いで「腰」、「ひざ」、「肩」の順に多い。ひざに痛みを感じている人は26.6%であるが、対応状況は、「医療機関・接骨院などの受診」、「外用薬・内服薬」、「体操」の順に多く、何もしていない人も21.8%である。鶴見区のひざ痛体操については、「知らない」が78.3%、「知らないがやってみたい」が6%である。

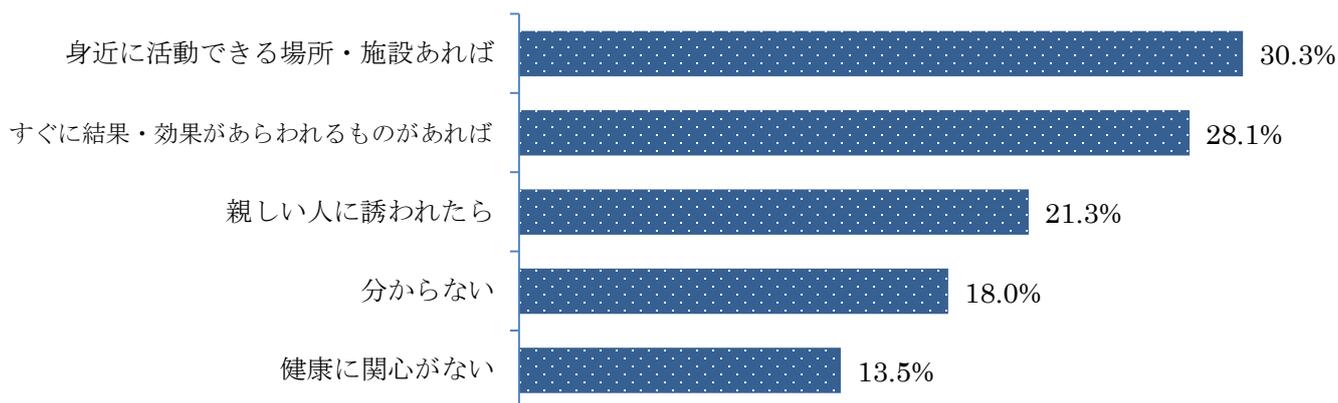
問 19 あなたは健康を意識して何か行動をしていますか。(〇はいくつでも)



図表 28 健康を意識した行動(10項目からいくつでも、上位5つを表示) n=1,018

問 19-1 どのようなことがあれば行動できそうですか。

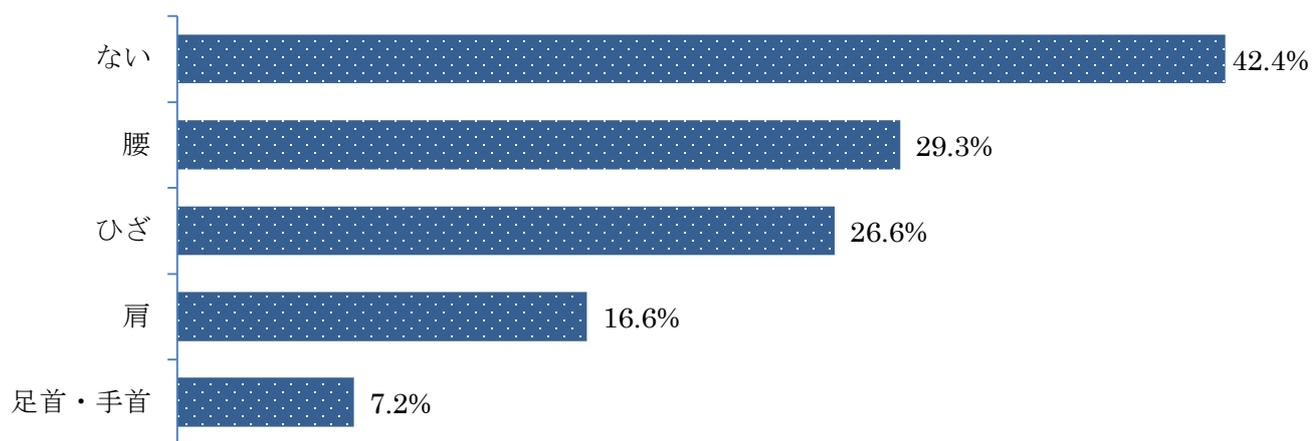
(問 19 で『10 何もしていない』と答えた方のみ)(〇はいくつでも)



図表 29 行動するための条件(10項目からいくつでも、上位5つを表示) n=89

問20 ひざ痛対策に関連してお伺いします。

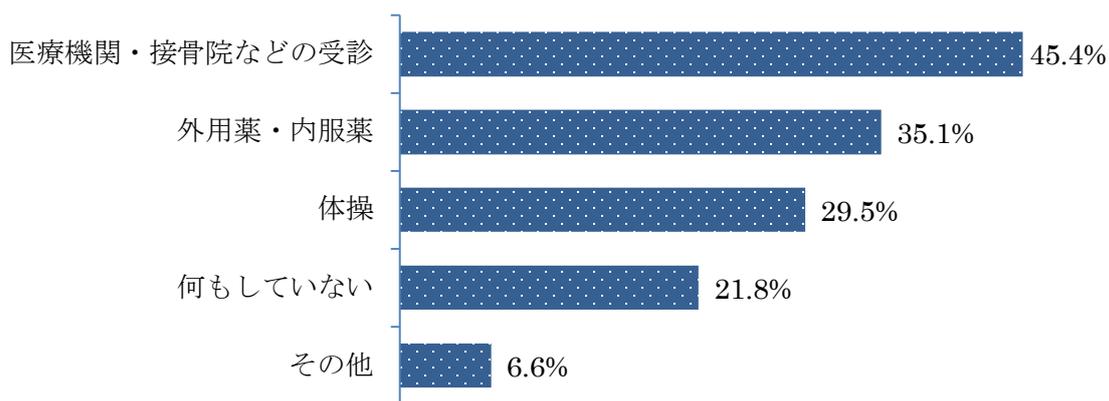
問20-1 現在、関節に痛みはありますか。(〇はいくつでも)



図表30 関節の痛みについて (6項目からいくつでも、上位5つを表示) n=1,018

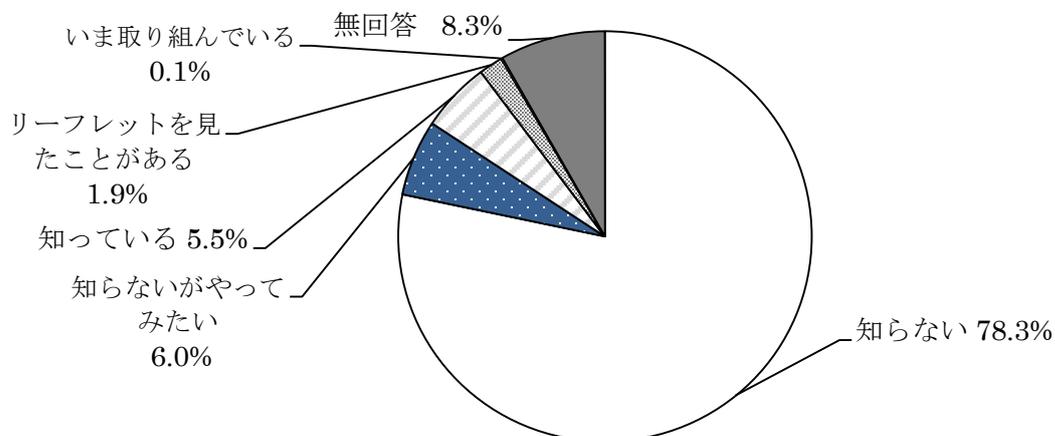
問20-2 ひざに痛みのある方にお尋ねします。今どのように対応していますか。

(20-1で『1 ひざ』と答えた方のみ) (〇はいくつでも)



図表31 ひざ痛への対応状況 (6項目からいくつでも、上位5つを表示) n=271

問21 鶴見区で取り組んでいる「ひざ痛体操」を知っていますか。(〇は1つだけ)



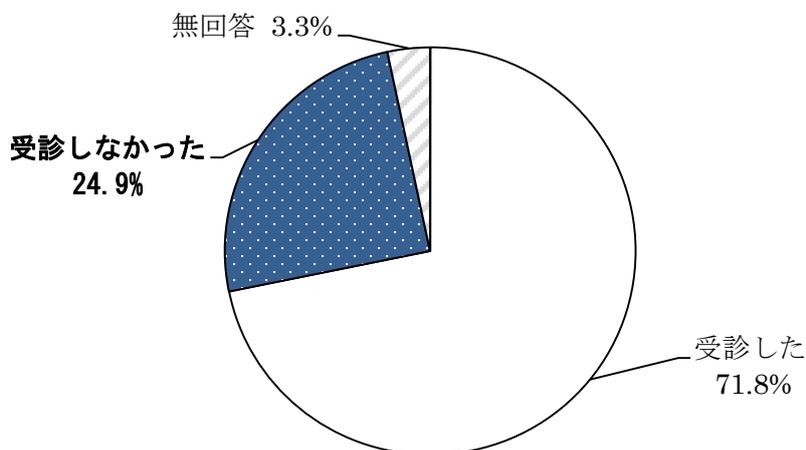
図表32 鶴見区のひざ痛体操について n=1,018

## 8. 健康診断について(問 22～問 23)

過去1年間に健康診断を受診した人は、71.8%である。受診しなかった人は、24.9%であるが、その理由の上位は、「心配時は医療機関で受診できる」、「費用がかかるから」、「時間がとれなかったから」である。

健康診断を受ける上で必要なことは、「費用が安い」、「住まいや職場の近くで受けられる」、「行きつけの医療機関で受けられる」の順に多い。

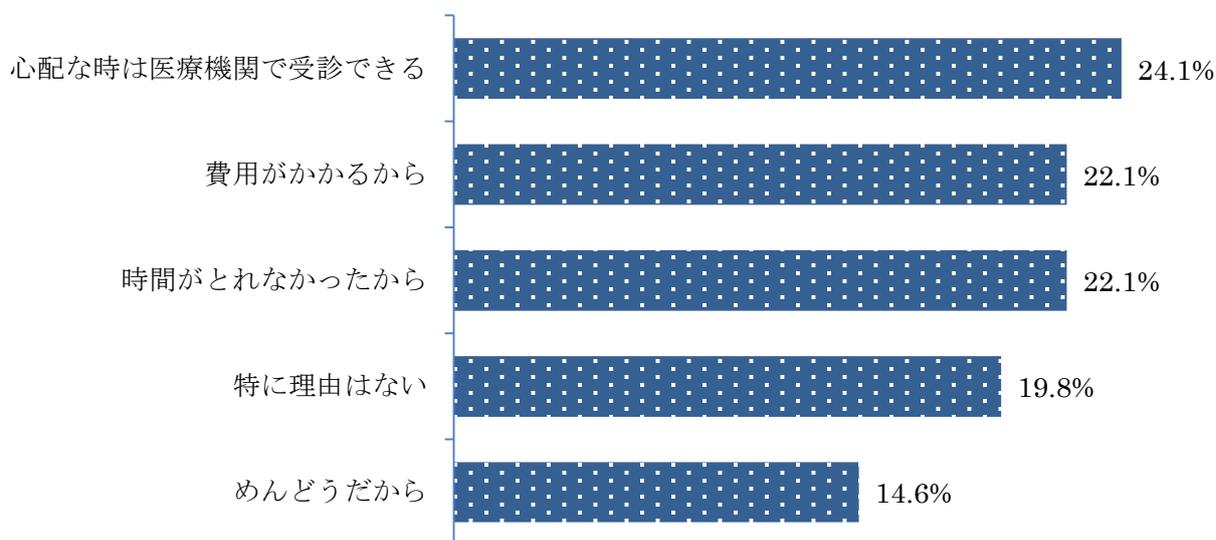
問 2 2 あなたは過去1年間に一般的な健康診断を受診されましたか。(○は1つだけ)



図表 33 過去1年での健康診断の受診 n=1,018

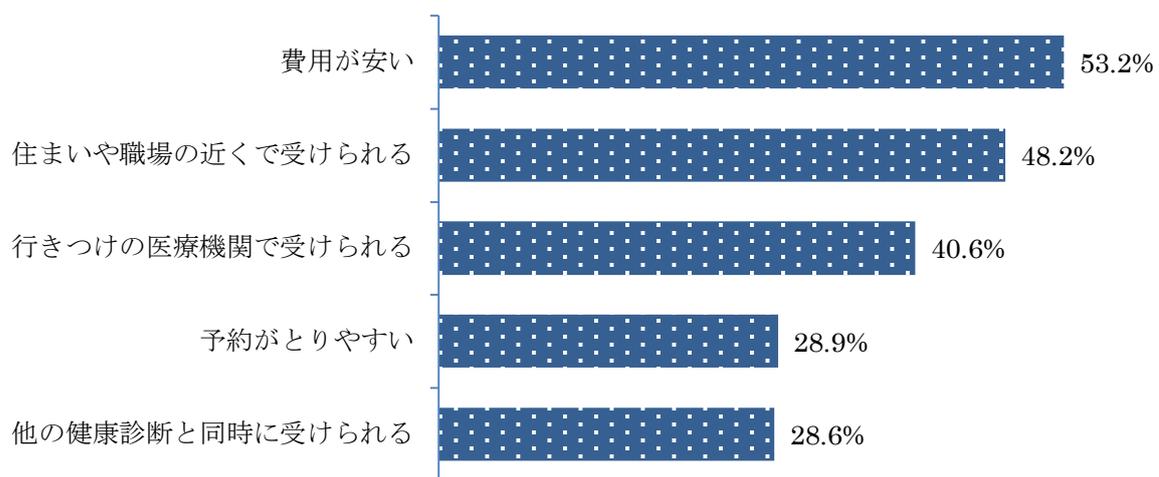
問 2 2 - 1 受診しなかった理由は何ですか。

(問 2 2 で『2 受診しなかった』と答え方のみ) (○はいくつでも)



図表 34 受診しなかった理由 (12項目からいくつでも、上位5つを表示) n=253

問23 健康診断を受ける上で必要なことはなんですか。(〇はいくつでも)



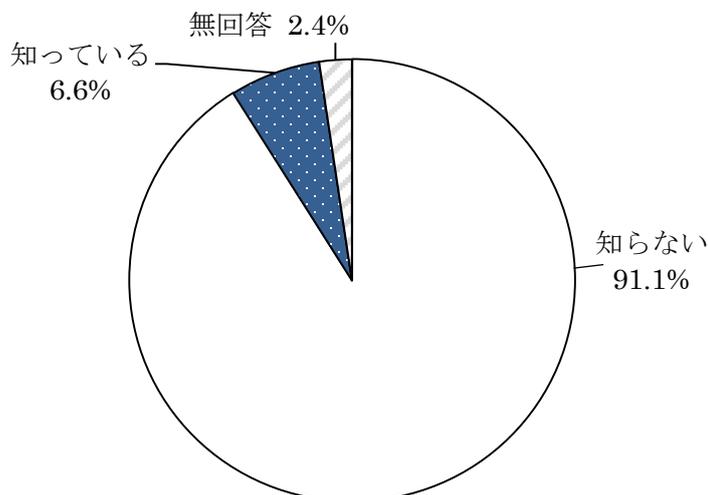
図表 35 健康診断を受ける上で必要なこと (8項目からいくつでも、上位5つを表示) n=1,018

## 9. 食育について(問 24～問 25)

**食育月間、食育の日を知っている人は、6.6%である。同居家族との朝食は、「ほとんど毎日食べる」が47.8%、「ほとんど食べない」が20.7%である。また、夕食については、「ほとんど毎日食べる」が56.4%、「ほとんど食べない」が5.7%である。**

**友人・知人との昼食は、「週に1日程度食べる」が11.2%、「ほとんど食べない」が39.0%である。また、夕食については、「週に1日程度食べる」が12.6%、「ほとんど食べない」が47.1%である。**

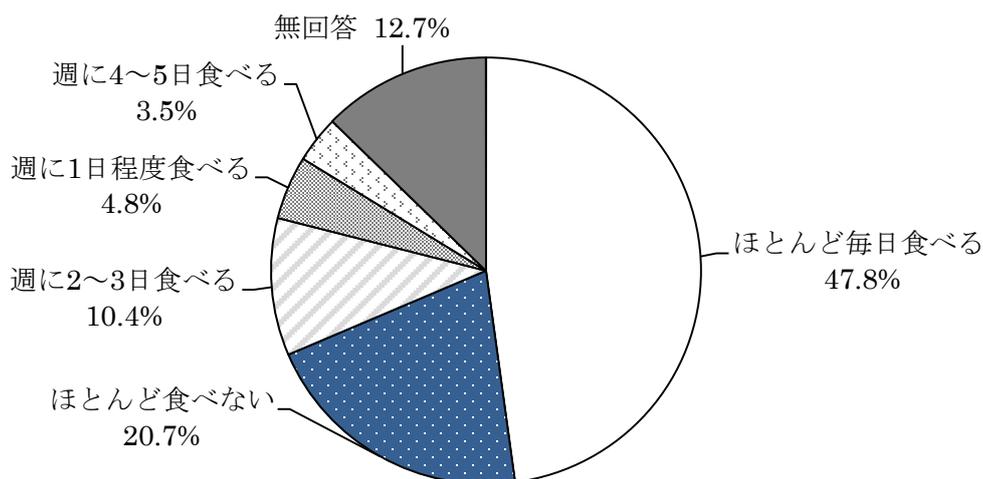
問 2 4 毎年6月が食育月間、毎月19日が食育の日であることを知っていますか。(○は1つだけ)



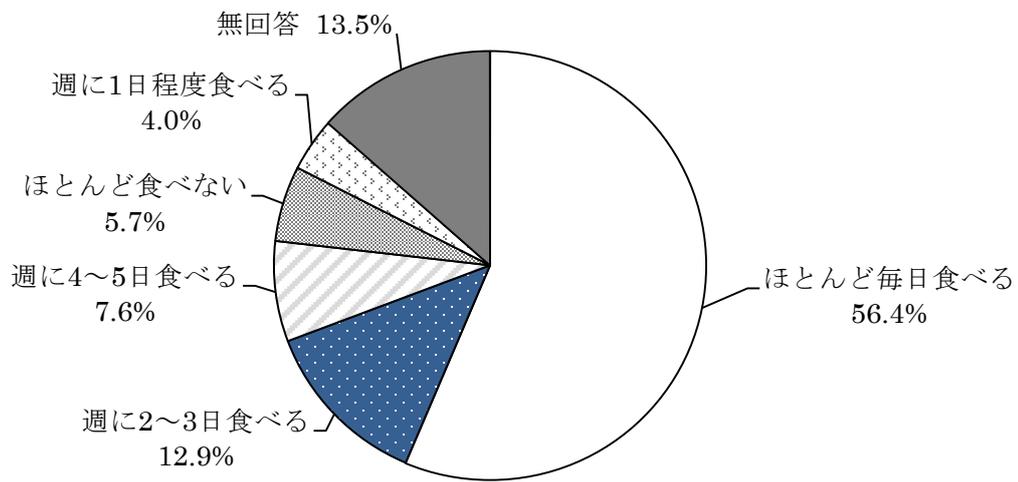
図表 36 食育月間、食育の日について n=1,018

問 2 5 同居の家族や友人・知人と一緒に食事を食べることは、どのくらいありますか。(「問 2 5-1 同居の家族の場合」、「問 2 5-2 友人・知人の場合」の朝食(昼食)・夕食ごとにそれぞれ○は1つだけ)

問 2 5-1 同居の家族の場合

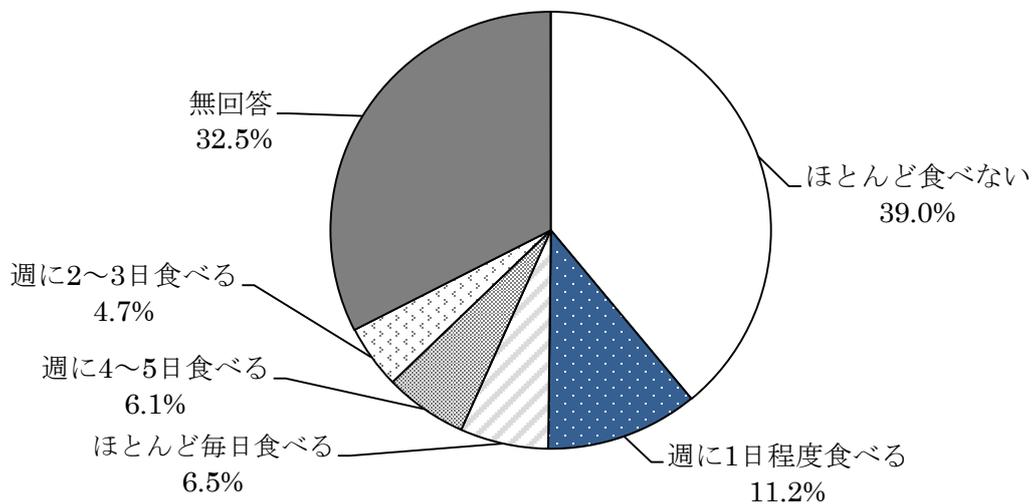


図表 37 同居家族と一緒に食べる朝食 n=1,018

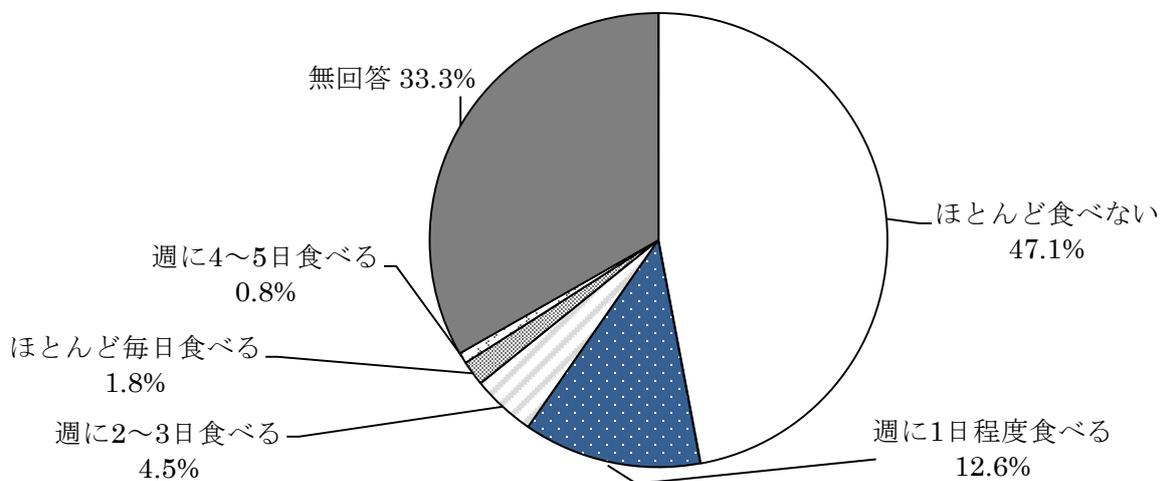


図表 38 同居家族と一緒に食べる夕食 n=1,018

問 2 5-2 友人・知人の場合



図表 39 友人・知人と一緒に食べる昼食 n=1,018

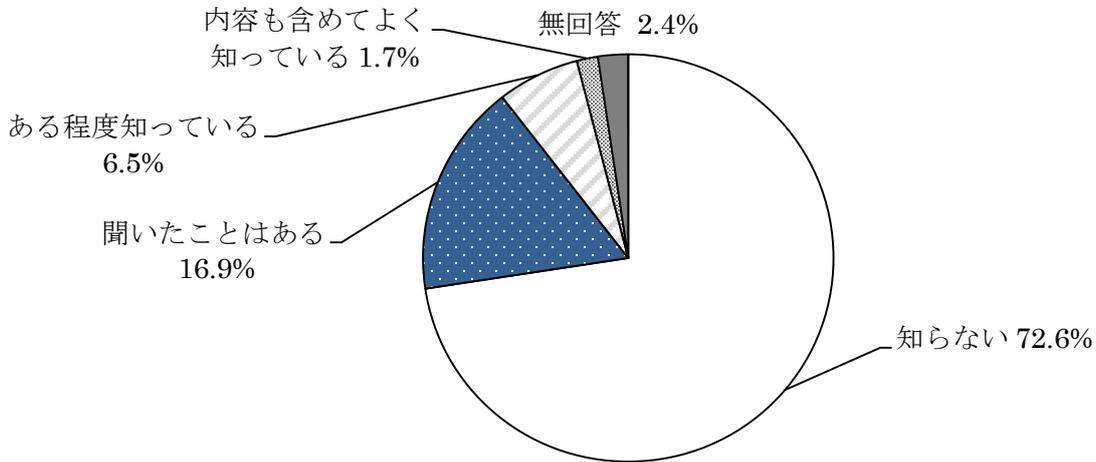


図表 40 友人・知人と一緒に食べる夕食 n=1,018

10.「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」の地域支えあい活動について(問 26～問 27)

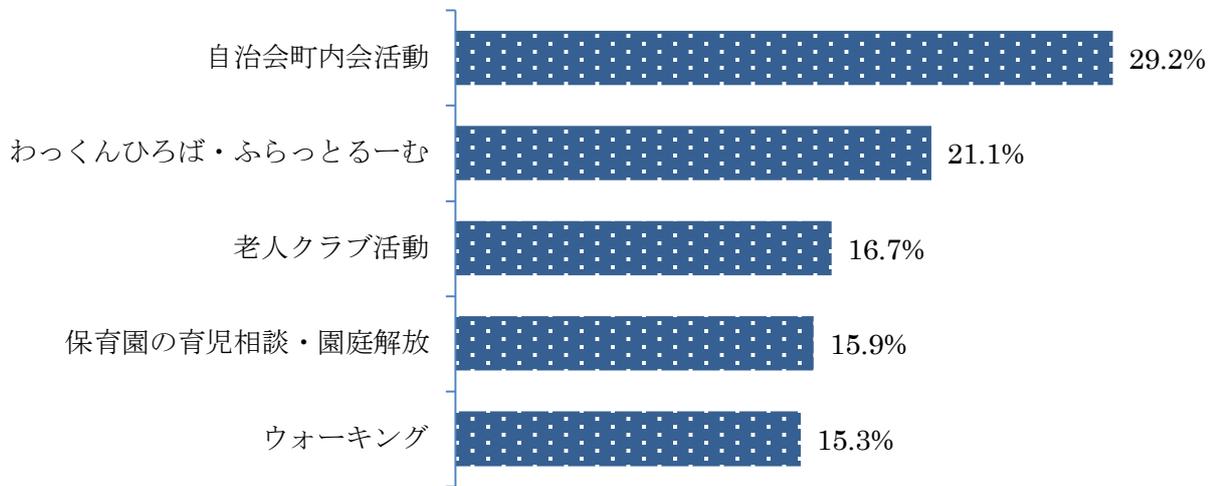
鶴見・あいねっとを知っている人は、「聞いたことはある」を含めて、25.1%である。  
 また、知っている地域の活動は、「自治会町内会活動」、「わっくんひろば・ふらっとる一む」、「老人クラブ活動」、「保育園の育児相談・園庭解放」、「ウォーキング」の順に多い。

問 26 あなたは、「鶴見・あいねっと (鶴見区地域福祉保健計画)」を知っていますか。(○は1つだけ)



図表 41 鶴見・あいねっとについて n=1,018

問 27 鶴見区では、以下の1～23のような地域支えあい活動や福祉保健活動に取り組んでいます。あなたが知っている活動に○をつけてください。(○はいくつでも)



図表 42 知っている鶴見区の活動 (23項目からいくつでも、上位5つを表示) n=1,018

## 11. 子育てについて(問 28～問 30)

**就学前の子供がいる人は、13.1%であるが、子育て支援サービスの利用状況は、「こんにちは赤ちゃん訪問」「区役所ホームページ」「母親教室、両親教室」「育児教室（赤ちゃん会）」「園庭解放、子育て支援事業」の順に多く、他方、「産前産後ヘルパー事業」「ゆあたいむ」「ほっとねっと広場（サクサク）」はほとんど利用されていない。**

**子育ての相談相手は、「昔からの友人」「子どもを通じて知った友人、知人」「幼稚園・保育園」の順に多い。**

**子ども虐待を知っている人は、76.8%であるが、虐待発見時の通報義務について知っている人は、47.9%である。**

問 28 あなたには就学前のこどもがいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

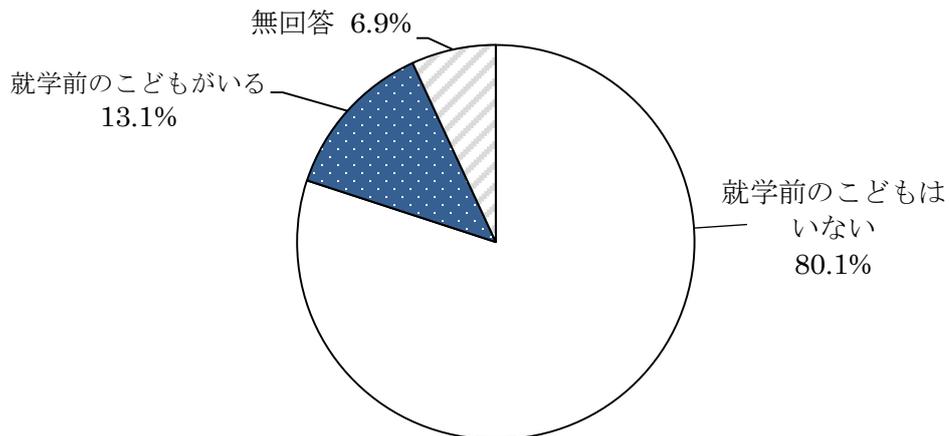
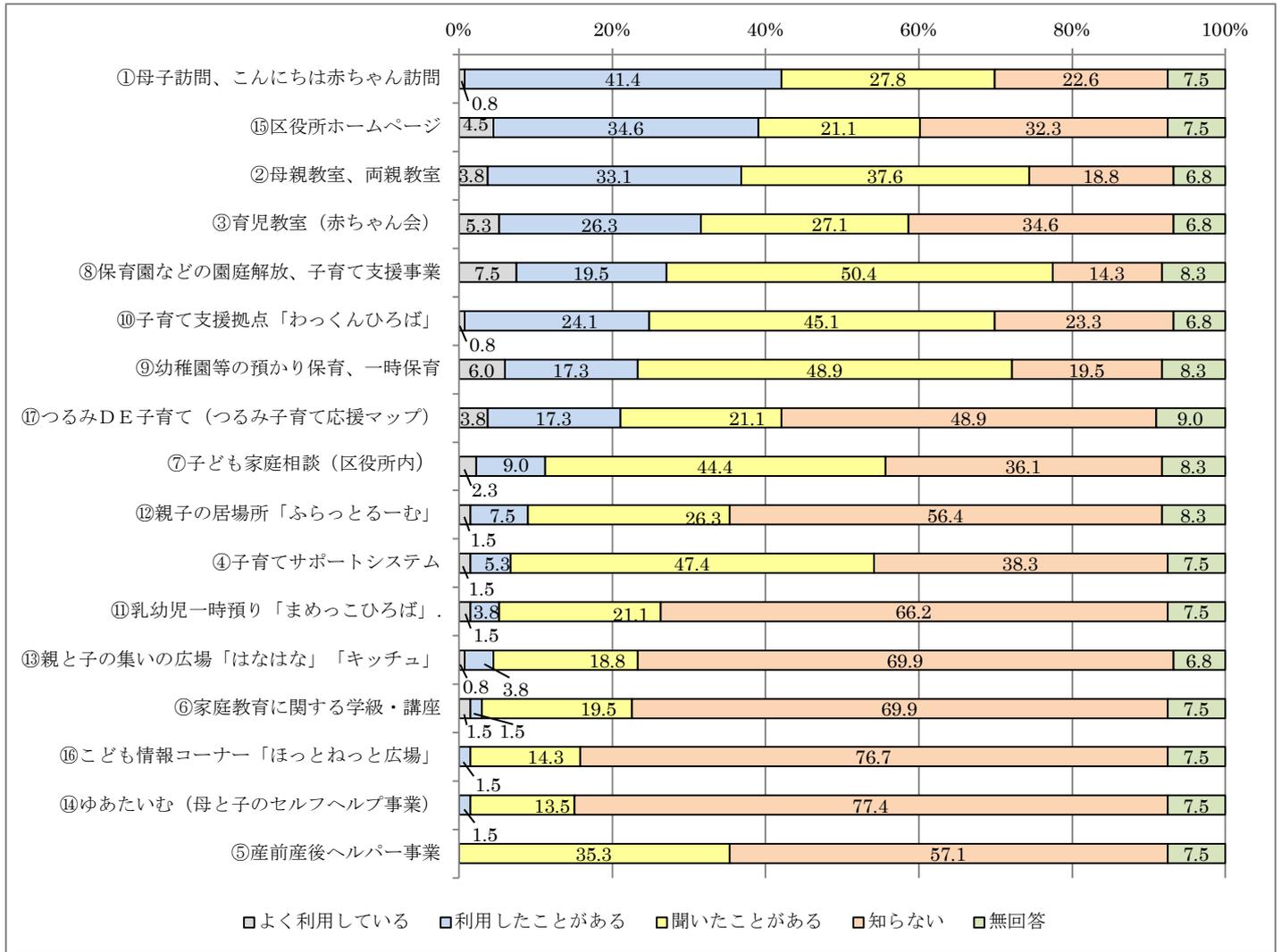


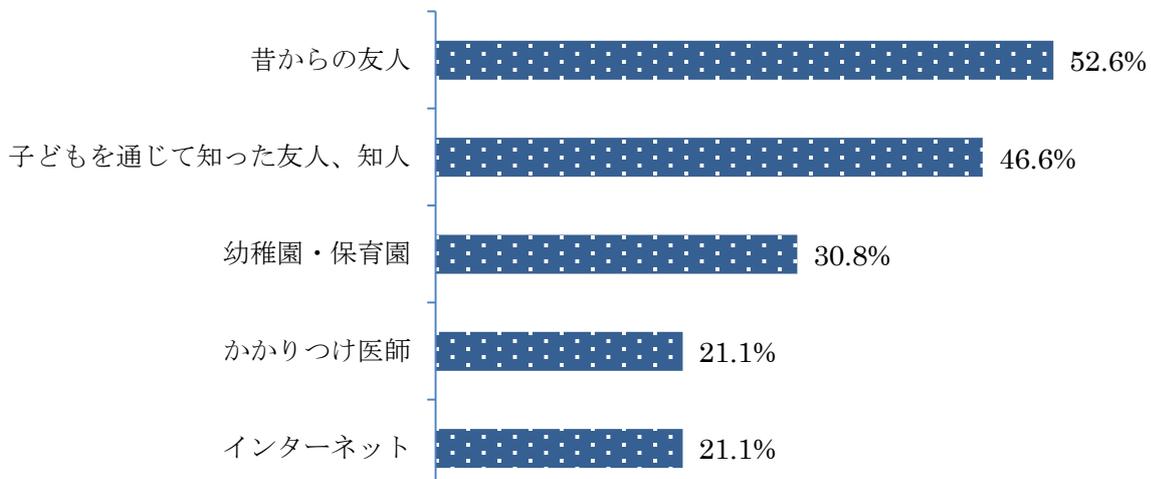
表 43 就学前の子供について n=1,018

問28-1 鶴見区では以下の(1)～(17)の子育て支援サービスを行っています。(1)～(17)のサービスを利用したことがありますか。(問28で『1 就学前のこどもがいる』と答えた方のみ) (〇はそれぞれ1つだけ)



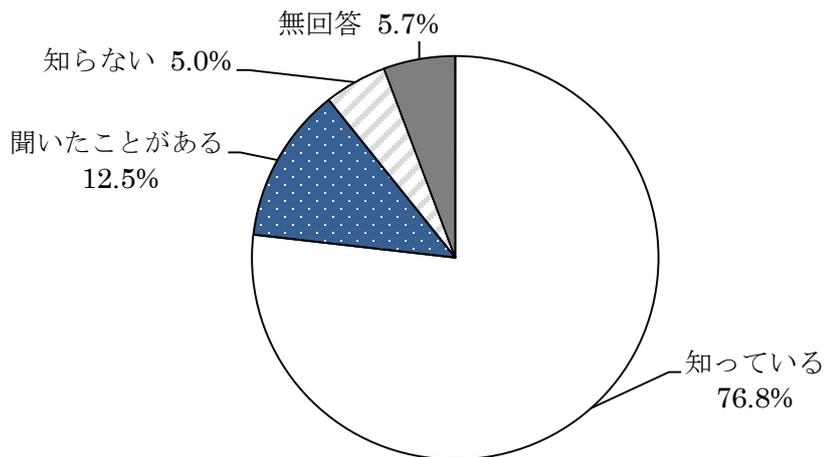
図表44 子育て支援サービスの利用について (就学前の子供がいると回答した人のみ) n=133

問28-2 あなたは家族や親せき以外で子育てについて誰に相談しますか。(〇はいくつでも)



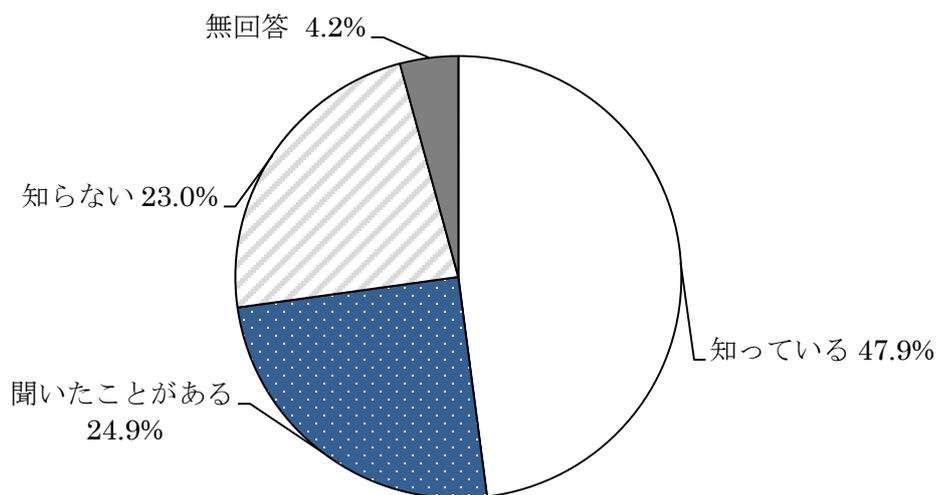
図表45 子育ての相談相手 (11項目からいくつでも、上位5つを表示) n=133

問29 「子ども虐待」を知っていますか。(○は1つだけ)



図表46 子ども虐待について n=1,018

問30 虐待を受けたと思われる子どもを発見した人は、区役所福祉保健センター(区役所)や児童相談所に連絡(通告)する義務があることを知っていますか。(○は1つだけ)



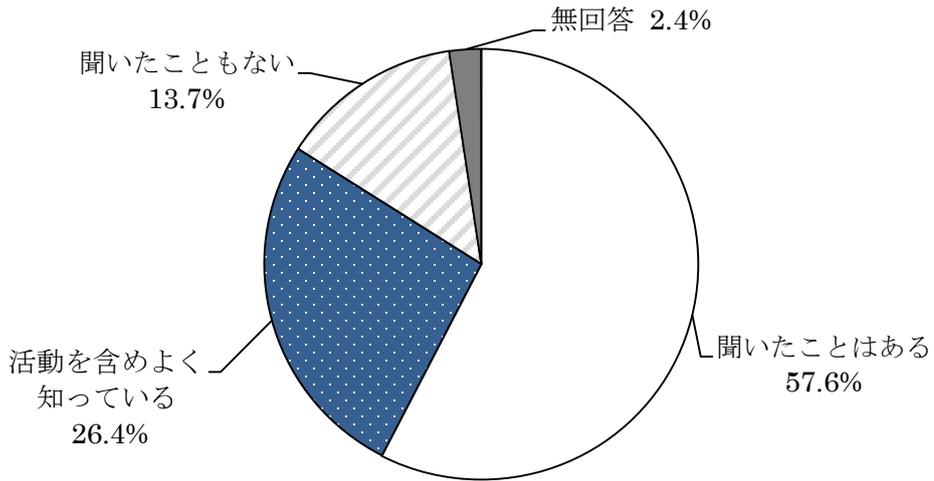
図表47 子ども虐待発見時の通報義務 n=1,018

12. 民生委員・児童委員、保健活動推進員について(問 31～問 33)

「民生委員・児童委員」について、「活動を含めよく知っている」は26.4%であるが、「聞いたこともない」は13.7%である。「保健活動推進員」については、「活動を含めよく知っている」は6.9%であり、「聞いたこともない」は64.1%である。

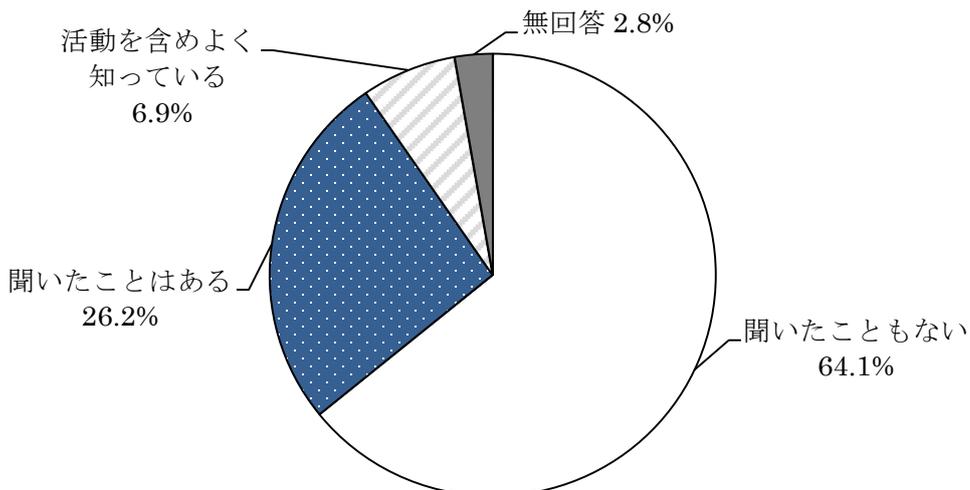
また、一人暮らしの高齢者の見守り活動の担い手としては、「自治会・町内会関係者」、「近隣住民」、「新聞配達、郵便配達など」が期待されている。

問 3 1 「民生委員・児童委員」を知っていますか。(○は1つだけ)



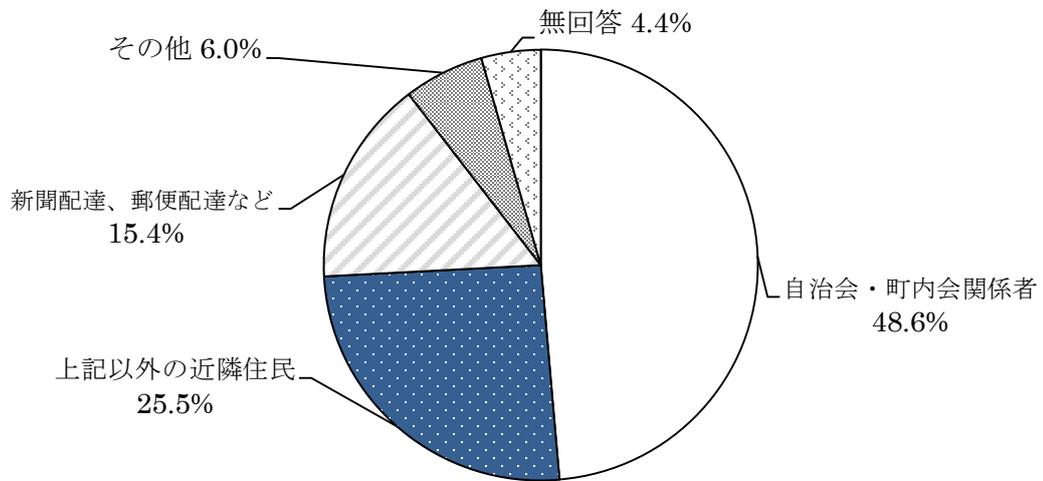
図表 48 民生委員・児童委員について n=1,018

問 3 2 「保健活動推進員」を知っていますか。(○は1つだけ)



図表 49 保健活動推進員について n=1,018

問33 本格的な高齢化社会を迎え、ひとり暮らしの高齢者の見守り活動の担い手をさらに拡大する必要性が予測されますが、誰に期待したいですか。(○は1つだけ)

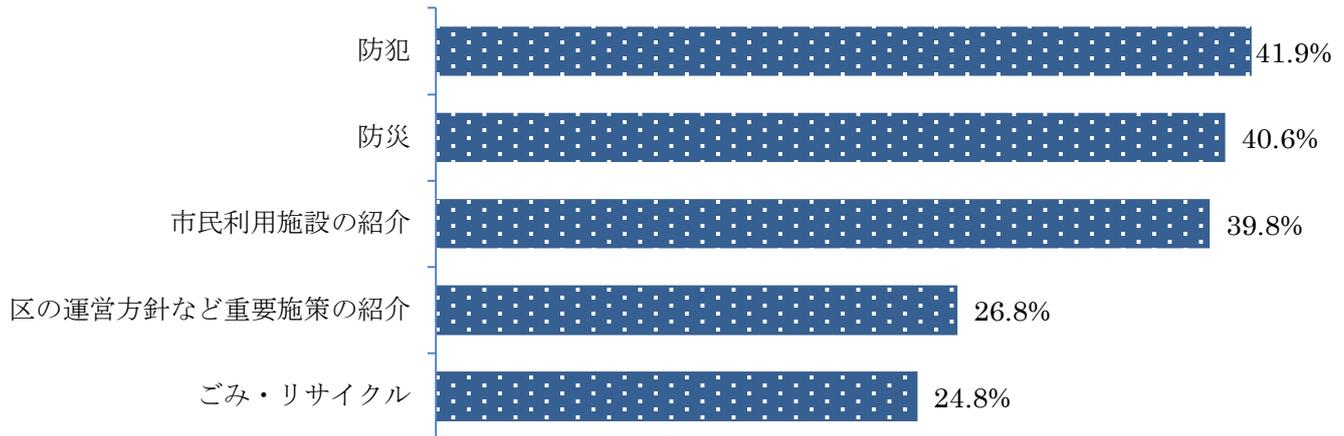


図表50 ひとり暮らしの高齢者の見守り活動の担い手としての期待先 N=1,018

13. 広報よこはま鶴見区版について(問 34～問 36)

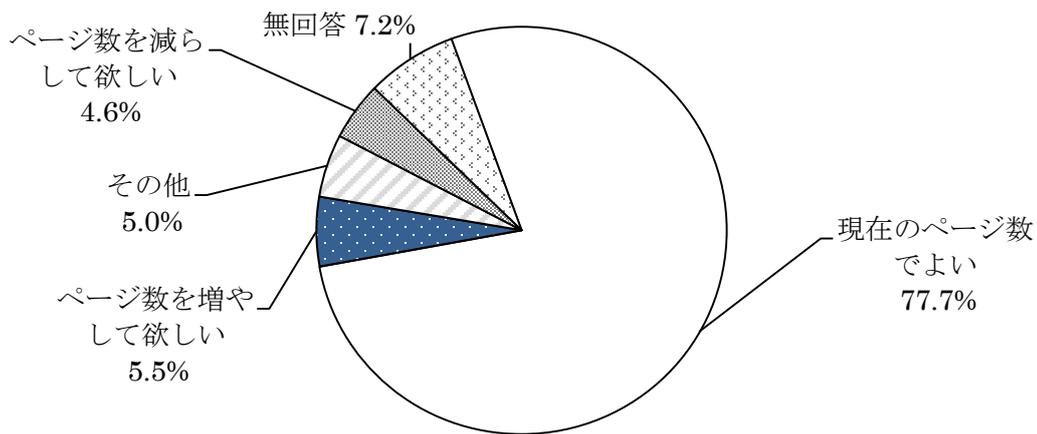
「広報よこはま鶴見区版」で取り上げて欲しい記事は、「防犯」、「防災」、「市民利用施設の紹介」が多い。また、「広報よこはま鶴見区版」のページ数は、「現在のページ数で良い」が77.7%、「ページ数を増やしてほしい」は5.5%、「減らしてほしい」は4.6%である。  
 区役所からの情報入手方法としては、「広報よこはま鶴見区版」が45.2%、「自治会・町内会の回覧など」が35.4%、「区役所のホームページ」が9.9%である。

問34 「広報よこはま鶴見区版」の特集記事(1～3面)では、どのようなテーマをとりあげてほしいですか。(〇は5つまで)



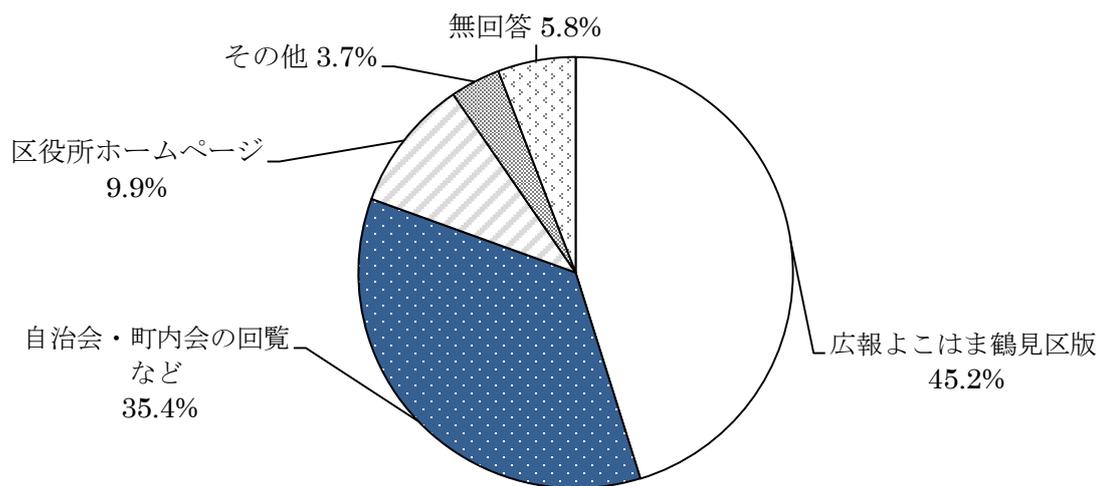
図表 51 広報よこはま鶴見区版でとりあげてほしい特集記事 (19項目のうち上位5つを表示) n=1,018

問35 「広報よこはま鶴見区版」のページ数(通常8ページ)についてどう思いますか。(〇は1つだけ)



図表 52 広報よこはま鶴見区版のページ数 n=1,018

問36 「広報よこはま鶴見区版」には様々な情報が掲載されていますが、区役所からの情報を主にどの様な方法で入手していますか。(〇は1つだけ)

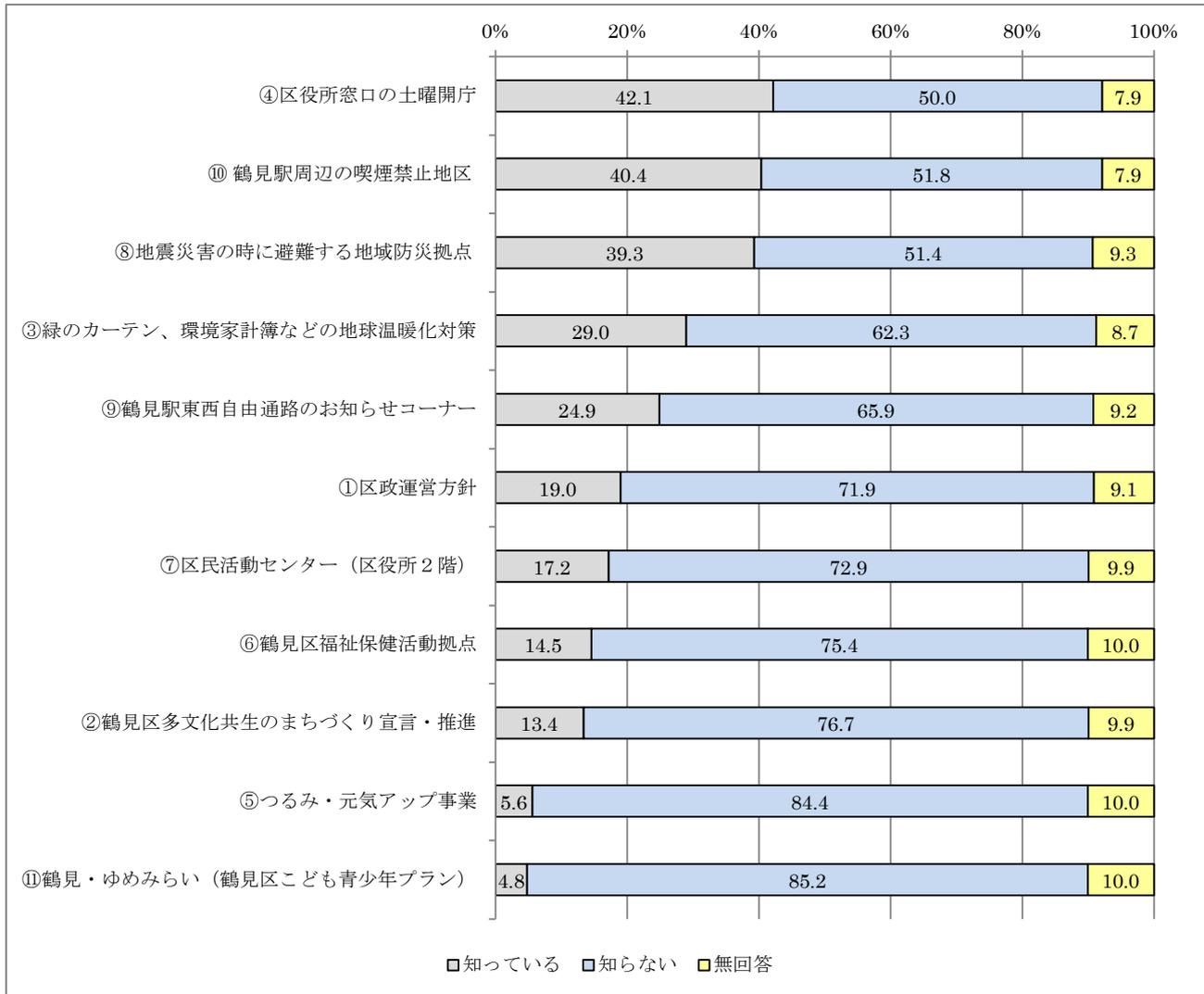


図表53 区役所からの情報入手方法 n=1,018

14. 鶴見区役所の取組について(問37)

鶴見区役所が行っている取組について、「知っている」は、「区役所窓口の土曜開庁」、「鶴見駅周辺の喫煙禁止地区」、「地震災害時の地域防災拠点」の順に多い。逆に「知らない」は、「鶴見・ゆめみらい」、「つるみ・元気アップ事業」、「多文化共生のまちづくり」、「鶴見区福祉保健活動拠点」などが多い。

問37 鶴見区役所が行っている次の取組をご存じですか。(それぞれに○は1つ)



図表54 鶴見区役所が行っている取組について n=1,018

以上